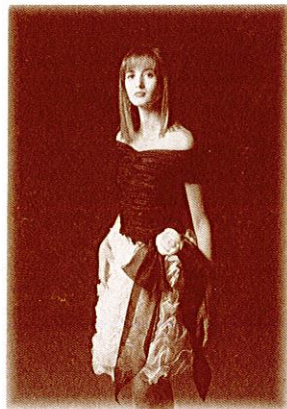
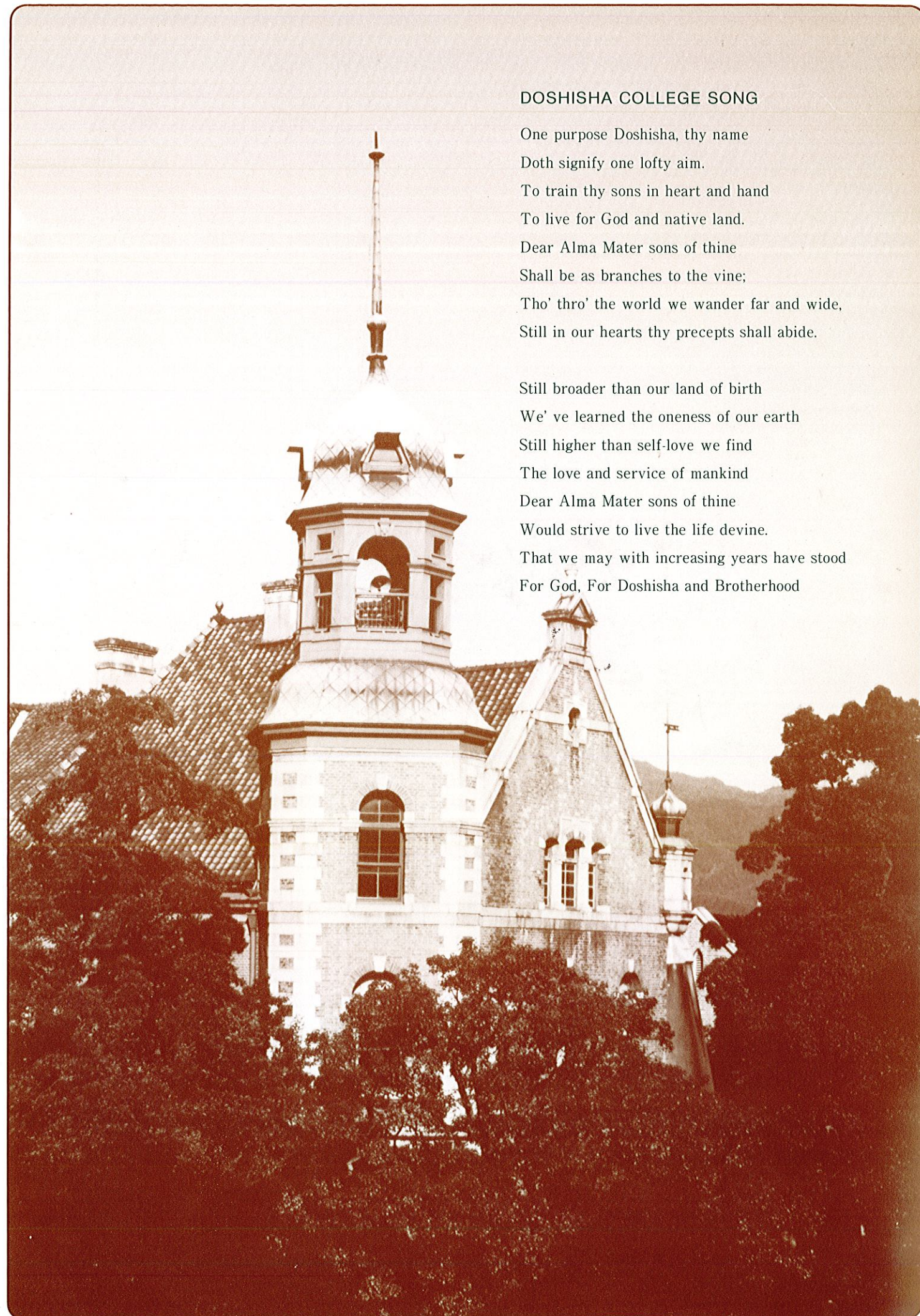


DOSHISHA GLEE CLUB



THE 85th ANNUAL CONCERT

SINCE 1904



DOSHISHA COLLEGE SONG

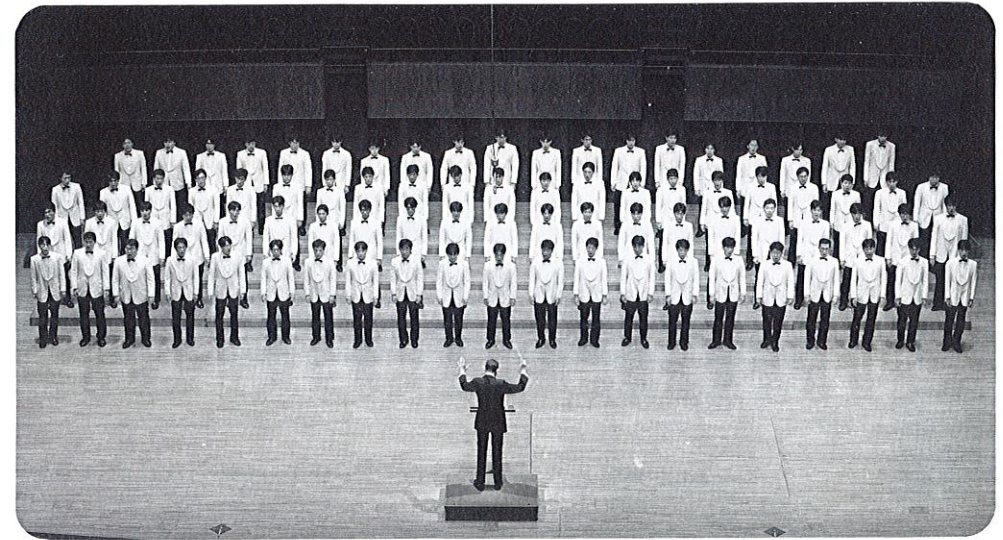
One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and native land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' thro' the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our earth
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine.
That we may with increasing years have stood
For God, For Doshisha and Brotherhood

第 85 回

同志社グリークラブ定期演奏会

1989年12月16日(土) ザ・シンフォニーホール



御挨拶

本日はお忙しい中、私共同志社グリークラブ第85回定期演奏会にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。

「出会い」は、正に十人十色、そしてこの「出会い」が、後の人生に大きな影響を与えることが少なくありません。私共は、まだ若輩故にその経験は浅いですが、クラブを通じて貴重な出会いの経験をして参りました。

今宵の演奏会は、素晴らしい出会いです。

1,800名の皆様と、音楽を通じた挨拶を交わすことは、私共にとりまして大きな喜びであり、また、未知の世界への期待で私共の心は躍動しております。今宵の皆様方との出会いは、私共の心の中に熱い血潮となって脈々と流れ続けることでしょう。

最後になりましたが、未熟な私共を熱心にご指導下さった諸先生方、並びに諸先輩方、本演奏会の開催に御尽力下さいました関係各位に、部員を代表して厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ幹事長 佐藤 健司

同志社総長 松山 義則



今年も同志社グリークラブの第85回定期演奏会が、音楽を愛される多くの方々のご出席を得て開催されますことを、心からうれしく存じます。

輝かしい伝統をもつ同志社グリークラブは、献身的な諸先輩の努力によって築きあげられました。団員の諸君はこのすばらしい伝統を受け継ぎ、さらなる発展を期して日々研鑽を積み、皆さまのあたたかいご支援をいただいておりますことは大きなほこりと存じます。

グリークラブは今年の2月から3月にかけて合唱音楽の原点である西ドイツ、スイス、ギリシャ諸国を中心としたヨーロッパ各地への演奏活動を行いました。ヨーロッパへは今回で3度目の演奏活動でありましたが、かの地においても美しいハーモニーを披露して多くの人々と交歓を深め、友好と親善を果たしてまいりました。団員の諸君は、演奏活動をつづけてわが国に忘れがちな、大切ななにかを学びとってきたものと思います。

音楽をこよなく愛するグリーの諸君は、本日の演奏をこの一年間の総決算と受け止め、すべての情熱を傾けて力いっぱい歌いあげてまいりましょう。昨年以上のすばらしい演奏となることを期待したいと思います。

どうか皆さまには同志社グリークラブの演奏に心耳を傾けていただき、今後とも変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、この演奏会の開催にご尽力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

同志社グリークラブ顧問 澁谷 昭彦



前顧問の遠藤彰先生から顧問を引き継いでから、もう4年になる。25年間も顧問を務められた遠藤先生は、定年で今年限りで同志社を去られる。長い間グリークラブのために御尽力下さった先生に、心から感謝の意を表したいと思う。

さて、顧問を引き継いだときに、果たして顧問は何をすべきかと案じ、OB会の会報に、「グリークラブを、同志社にある学生合唱団として、そのあるべき姿に少しでも近づけるために、努力したいと考えています。」と書いた。「あるべき姿」のイメージは、人さまごまかも知れないが、グリークラブとしては、その歴史に照らし合わせてみるならば、そのルーツである「聖歌隊」の要素を失えば、根なし草になってしまうのではないだろうか。この点からして、グリーがチャペルアワーで奉仕してきていることを高く評価している。

しかしながら、一年の総決算の場、同時に、自己確認、自己主張、アイデンティティーのあくなき追求と明確な提示の場であればならない筈の定期演奏会で、ここ数年、いわゆる、宗教曲、教会音楽、キリスト教音楽が、プログラムからすっかり姿を消してしまっているのは、自らよき伝統を捨てているとしか思えず、極めて残念である。

トップクラスの合唱団として、どうしてもチャレンジしなければならないような難曲、大曲、問題作もあるであろう。しかし、四つもステージがあるのに、一つも宗教曲にまわせないというのは、信じ難いことである。宗教曲と呼ばれる類の曲が、音楽的に劣っているのならともかく、信仰の問題を抜きにしても、人々の心に訴えるものがあり、合唱曲としても優れている場合が多いということは、周知の事実である。同志社の合唱団だからこそ、真の意味で、宗教曲が歌えるのだから、同志社の特色を発揮するためにも、ぜひ定期演奏会で宗教曲を歌って欲しいと思う。

同志社グリークラブ OB 会会長 松本 寛二



85回目の定演と聞いて、まず真先にピンと来たのは、それじゃ俺は、半世紀以上も同志社グリーと付き合いきたんだなという想いだ。後何年か、そんなこと知らんけど、どうも最後までと言うことらしい。万がいち100回目まで付き合い続けたとしたら、俺はいったいどんなになってるやろ、と恐ろしくなった。とにかく85回目の定演おめでとう。つい先日のことだが、来日中のウィーン・スタートアップの「ランスへの旅」を東京まで見に行ったのだが、舞台も客席もあつたもんでない、全開場を舞台としているんだ。私の右側にも変なのがいるな、と思ってたら、幕が開くと見るや、サッサと舞台上がって歌い始めた。すごい声で、しょっぱなからドギモを抜かれ、爆笑となった。これこそ、ロッシェニらしいサービス精神の現れかもしれないがテンポも早く正確で楽しかった。そんなあとに今度は85回目のグリーを聞くわけだが、どうか楽しいコンサートであってほしい、と思う。チラシを見ると、マーラーあり、ミュージカル名曲集あり、中勘助の詩あり、とバラエティーにもとんでいて面白そうだ。頑張ってください。楽しみにしている。

関西学院グリークラブ

第85回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催を、関学グリー部員一同心よりお祝い申し上げます。

お互いのグリーの歴史の中で、貴団とは時にはよきライバルとして、そしてまた時には良き友として長い歳月を共有いたしております。その貴団と一年を通して東西四連、同関交歓演奏会、関西六連と多くのステージを御一緒出来、部員同志が技術的にも精神的にも交流する機会があります事は大変素晴らしい事であります。また一年の総決算である定演を、年の瀬も迫ったこの時期に拝聴いたしますことは、私共にとりまして大きな楽しみであり、私共自身のもちます定演への良い刺激ともなっております。

奇しくも両団とも今年3月には、合唱の聖地であるヨーロッパへの演奏旅行を経験しており、貴団の若さあふれるエネルギーな表現、そして聞くものを感動させずにはおかない心温まるハーモニーは、それにより一層磨きがかかったと聞き及んでおります。必ずや今宵もまた、会場の皆様を魅了し尽されることでしょう。今後も、男声合唱を愛し、純粋に生きた音楽を創り出さんとする仲間として、永く歴史を共有してまいりましょう。

最後になりましたが、今宵の演奏会の御成功と貴団の今後一層の御発展をお祈り申し上げます。



早稲田大学グリークラブ

第85回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催おめでとうございます。

東西四連のステージで共に命を張って、冷静でおしゃれな某慶應・関学をよそに、いつもいっしょにバカになってくれる君達はとても他人とは思えない。従って堅苦しい便宜上のメッセージなんてやめにしたいが、もちろんいい友達でありながら、ライバルとして意識することはやめたくないと思う。ときには緊張感のある人間関係も必要だろう。皮肉ではなしに君達同志社グリーはよく練習する(という噂が関東では一般的である)。スタミナもある。それから一番驚くべきは、演奏中の漂わせる殺気というか何というか、ホールを別空間にしてしまう異様な存在感だ。これには全く震えあがってしまう。とにかく、今年の東西四連で観てくれた弾丸テノールと戦車みたいなベースは今日も期待できるにちがいない。というより僕等は異常に期待している。同志社はきっとやってくれるに決まっている。今日のベストを尽くすことを心よりお祈り申し上げます。



慶應義塾ワグネルソサイエティ男声合唱団

第85回同志社グリークラブ定期演奏会の御開催を心よりお慶び申し上げます。

雪降り、星降り、人の行き交う12月のこの時節となりましたが、同グリーメンの方々、お元気でいらっしゃいますか。本年度東西四大学合唱演奏会では、東京での楽しい音楽のひとときを共に過ごすことができました。来年大阪でのこの演奏会を今から楽しみにしております。中には、「鴨川、鴨川」とつぶやき続けて頂ける御仁も多数、とお聞きし、なおさら本年は渋谷ハチ公が工事中であった事が残念でなりません。

今宵は、春に入れた1年生の皆さんを加え、ますます磨きのかかった演奏会になるだろうと、ワグネル内でも専らの噂であります。透徹された音楽の中にも素晴らしい憧憬と人間が見える同志社グリーの歌が好きです。完璧とも言えるハーモニーの中に(月光とピエロの様な)人の哀愁(エレジー)を歌いあげる時、皆さんはどのような気持ちに至っていらっしゃるのでしょうか。

酒宴の席でも、その人間性の多様なことに驚いてしまいましたが、次第にクラブになれてこられた1年生の皆さんも、また様々な思いを抱いて歌われることでしょう。伝統の素晴らしさを実感しつつ歌い痴れて下さい。



DOSHISHA COLLEGE SONG

作詩 W.M.Vories
作曲 Carl Wilhelm

I 男声合唱組曲「中 勘助の詩から」

- 1 絵日傘
- 2 椿
- 3 四十雀
- 4 ほほじろの声
- 5 かもめ
- 6 ふり売り
- 7 追羽根

作詩 中 勘 助
作曲 多 田 武 彦
指揮 伊 東 恵 司

II 男声合唱曲「岬の墓」

作詩 堀 田 善 衛
作曲 團 伊 玖 磨
編曲 福 永 陽 一 郎
指揮 福 永 陽 一 郎
ピアノ 黒 澤 美 雪

III 「さすらう若人の歌」

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 君が嫁ぐ日 | 作詩・作曲 G. Mahler |
| 2 露しげき朝の野辺に | 編曲 福 永 陽 一 郎 |
| 3 灼熱せる短刀もて | 指揮 伊 東 恵 司 |
| 4 君が青きひとみ | ピアノ 長 田 育 忠 |

IV GREAT NUMBER FROM BROAD WAY MUSICAL

——ブロードウェイミュージカル名曲集——

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1 OVER THE RAINBOW | |
| 2 INDIAN LOVE CALL | |
| 3 BEGIN THE BEGUINE | |
| 4 NIGHT AND DAY | |
| 5 OKLAHOMA! | 編曲 福 永 陽 一 郎 |
| 6 OL' MAN RIVER | 指揮 福 永 陽 一 郎
ピアノ 黒 澤 美 雪 |

男声合唱組曲「中 勸助の詩から」

メッセージ 多田 武彦

第85回定期演奏会おめでとうございます。昭和25年から3年間京都で学生生活を送った折、栄光館で同志社グリークラブの黒人霊歌や日本古謡の名演奏を感動的に聴きました。とりわけ、各パートのピッチが良く合っていたので、ベースの動きや、ハイテノールのメロディが、ウィーン・フィルの絃のように、聴衆の心に飛び込んできたのを今でも思い出します。最近の日本の合唱界では、個人個人の発声が良くなり、それはそれで喜ばしいのですが、ソロならともかく、合唱の場合は、曲想に応じて、ヴィブラートやノン・ヴィブラートの使い分けを統一させなければいけない筈なのに、各自が勝手なヴィブラートやコロリートやフレージングやデュナミクを使って歌うものだから、ウィーン・フィルのような落ち着きがなくて、聴衆は大弱

り。そろそろ、原点への復帰が求められそうです。

そこへ行くと、同志社グリーは、いつの時代も型崩れせず、40年前にきいた深い藍色をたたえた落ち着いたアンサンブルをかきかせてくれるし、聴衆がいららするような奇をてらう解釈はなく、オーソドックスな演奏が伝統の深さを示しています。

組曲「中勸助の詩から」も、こうした演奏団体には打ってつけの曲目で、素朴で美しい詩人中勸助の世界を、しみじみと展開してくれることでしょう。

演奏会のご成功、同志社グリークラブのご活躍、聴衆のみなさんのご多幸を祈ります。



同志社グリークラブ第58代学生指揮者 伊東 恵司

1967年、京都に生まれる。嵯峨野高校卒業後、同志社大学入学と同時にグリークラブに入部。「向かうところ敵無し」とまで言われた今年の〈絶好調同グリー〉の原動力。

2月、大胆な日本民謡で華々しくデビューすると、ヨーロッパでは11度のステージを振り、方々で人気を集めた後、国内ではそのステージごとに彼の感性と学生指揮者としての力量が、各方面より高く評価を受けた。芸術的教養の深さと、柔軟な練習法で部員からの信頼も厚く、のんびりとした笑顔に隠された勸の鋭さに部員はいつも「してやられた」と思うのだが、その時すでに音楽は出来上がっている。



音楽は詩のかけらであり詩は音楽のかけらである。ひとたび心に突き刺さるとその傷口から幻のように時間と風景が溢れ出てくる。甘酸っぱい音、苦い音、透明なハーモニー、…時に柔らかい音色で心を包む。

風景を見るように何気なく音楽にまなざしを注いだ時、手に触れられないぬくもりに音楽の優しさを知る。あるいはまた心の奥底から吐き出したような音楽に息もできないほどに胸を締め付けられる。音楽は心から零れ出した詩のかけらであり、それを心で受け止めたとき夢幻の瞬間が豊饒な世界へ人を導くのだ。

「合唱の素晴らしさは」と問われたとき、それが一人では出来ないものであるからと答える。一人一人がそれぞれの持ち味を出し合ったとき、声が響き合いハーモニーが生まれる。それだけでなく、歌おうとする音楽に対し様々なイメージを出し合うことによって、合唱として一つの大きな表現を作り出すこと

ができる。海のイメージ、恋人のイメージ、夢、憧れ…いろいろな色が溶け合って合唱団として豊かな色と匂うような風景を作り出す…そこに合唱の魅力があるように思う。音楽そのものもまた演奏するものと聴くものがあり、お互いが心の扉を開き合い、溢れ出した時間を共有する喜びを教えてくれる。一つの悲しい旋律から失われた時間を思い合い、明るいハーモニーから燃え立つような力の漲りを共有しあえたとき、音楽はその本来の役割を果たしていると言えるのではないだろうか。

この演奏会で、合唱団のメンバーと観客の皆様方の中に等しく音楽が混ざりあったなら、様々な色をした感情のかけらが無限に反射しあったなら、それ程嬉しいことはない。音楽技術の品評会ではない。感情の扉を開き合うこと、音楽にまなざしを注ぐこと…目を閉じて溢れてくる時間と風景の中で溺れるように世界を漂うこと…そんなことの出来る素敵な音楽会を目指したい。

〈中勸助の残した言葉のかけらを巡って〉

詩とは映像のかけらであり、音のかけらであり、言葉のかけらであり、時間のかけらである。

ある何でもない瞬間…、窓越しに風景を眺め、濡れた屋根瓦の寂しげな表情を感じたとき、白いレースのカーテンの揺れに春の風の静けさを感じたとき、テーブルの上のメロンに夏の陽射しが降り注いでいるのを発見したとき、そのよこで光る銀のスプーンに、単純な形容詞では表し得ない感情を抱いたとき、…蝶の羽ばたきのようなその微かな心の震え…、その感情の鏡に浮かんだ小さな波紋がポエジーなのであり、その瞬間にいろんな色の感情を注ぎ込み、それを心のまなざしで受け止め得る者が詩人なのである。

中勸助はそんな瞬間にまなざしを注いだ詩人の一人であるが、日本文学史上稀有な存在であるといえる。彼の生い立ちについては近頃ブームになった感さえある名著「銀の匙」に詳しいが、この完璧な随筆が夏目漱石をうならせたものであったにも拘らず、文壇にも登場しなければ、世間に名を成すことも願わなかった。むしろ、人込みや喧騒の社会を嫌い、作家や詩人というよりも詩的な独自の生活への陶醉を愛していたように思われる。「銀の匙」は引き出しの中の珍しい形の銀の小匙の思い出から始まり、幼い日々の思い出を綴ったものであるが、単純なセンチメンタリズムという言葉では片付けられない独創性と比類のない美しさを誇り、きらびやかな美しさというよりは、現実が研ぎ澄まされて幻想になったというような雰囲気漂わせる。形式はたまたま随筆であったが、子供の世界と子供の心情を子供のまなざしからとらえ、また、何気ない現実の世界の中に、はっとするような詩的な瞬間を見付けだしている。

よそゆきの着物の友禅縮緬の美しい一片で縫われた女の子のお手玉の描写…そのお手玉を取り合って睦みあう小さな恋人たちを見詰める視線などは、このうえなく繊細であるが、世界は彼のまなざしによって風景になり、風景は彼のまなざしによって幻想になっているようだ。

どこかで見掛けた風景、どこかで感じた感情、どこかで聞いた話…中勸助の詩と文章からは、幻想的な時間と風景が溢れだし、遠い遠い時間の果てのほうから感性に囁き掛ける声を感じる。その距離感にはしかし、口マンチックな色付けはなく、ただ、子供の頃の小さな落書きをそのまま残しておきたいというような気持ちが「リリズム」とし

てほのかに香っているだけなのだ。

さてこの曲は、そんな中勸助の詩の情感を十分にたたえた名曲で、しばし多田武彦の初期の代表作とも言われる。日常の何でもない光景に独自のまなざしを注ぐことによって、幻想的ともいえるような感情を溢れさせた詩が雰囲気をつかんだ旋律で歌われ、心地好い印象を残してくれる作品である。

絵日傘…絵日傘を持って遊ぶ子供の情景に襖越しの呼びかけ…

椿…久兵衛さんの家の椿を手毬歌ふうに変え上げる四十雀…睦まじい男女の恋と結婚を四十雀に託してやさしく歌い上げる。

ほほじろの声…ほほじろの声を聞いて、昔の孤独と今の傷心をまどろみの中で抱き締める。

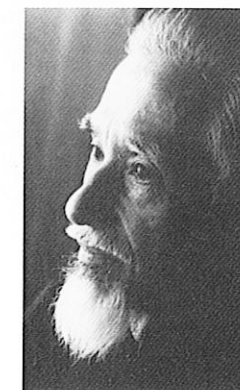
かもめ…わらべ唄ふうに、しかもほんのりとした色気を香らせてゆりかもめをうたう。

ふり売り…遠い時間の彼方から、記憶の中の一場面の、臍気な蘇り…現実か幻想かと思まごうような一瞬の永遠化。

追羽根…中勸助の病身の兄嫁に対するいたわりの詩であるが、日常の細かなものに対するまなざしと、繊細な表現、匂うばかりの季節感を漂わせた代表的な作風の詩。

演奏において私が最も大切にしたいのは、「優しい気持ち」…それに反応し得る「柔らかい感性」である。普段、慌ただしい生活の中で見逃してしまうような「風景」にまなざしを注いだとき、眠っていた感性の蘇りと共に、世界はそつとその扉を開いてくれるはずなのである。

第58代学生指揮者 伊東恵司



中 勸助略年譜

- 明治一八(一八八五年) 一歳
五月三日、今尾藩士であった父勸助、母鏡の五男として東京市神田区東松山下町の旧藩邸内で生れた。家族には次男金一、長姉は、次姉ちよがおり、のち妹栄、やすが生れる。銀の匙の伯母も同居。
明治二二(一八八九年) 五歳
一家は山の手小石川区小日向の家に移る。
明治三五(一九〇二年) 一八歳
第一高等学校第一部に入学。兄金一(東京帝国大学医学科卒業)は野村末子と結婚。
明治三八(一九〇五年) 二二歳
東京帝国大学英文科に入学。
明治三九(一九〇六年) 二三歳
十月、父勸助死去(六五歳)。
明治四二(一九〇九年) 二五歳
東京帝国大学国文科卒業。兄金一は脳溢血で倒れ、九州帝国大学教授を辞任。
明治四三(一九一〇年) 二六歳
十二月、一年志願兵として近衛歩兵第四連隊に入隊。兵営は翌年四月までの日記。
明治四四(一九一一年) 二七歳
四月、衛戍病院に入院。二ヶ月後除隊になる(衛戍病院)。除隊後徳州野尻湖畔に仮寓。弁天島に籠る。「島守」はこの約一ヶ月間の日記。帰京して翌年の初夏まで東京府下千駄ヶ谷に仮寓(郊外その一)。
明治四五(一九一二年) 二八歳
夏から秋、信州野尻湖畔で銀の匙を書く。帰京後、上野桜木町の寛永寺山内真如院に移る。孟婆の詠は太正五年までの日記。
大正二(一九一二年) 二九歳
四月、夏目漱石の推薦によって「銀の匙」が東京朝日新聞に連載。
大正三(一九一四年) 三〇歳
五月、脚氣療養のため信州追分へ転地(裾野)。六月末飯山の横川で「銀の匙」の後編を書く(翌年新聞掲載)。
大正五(一九一六年) 三二歳
秋、真如院から千駄ヶ谷に移る。郊外その二は翌年にかけての日記。この頃から江本家の長女妙子と親くなる。
大九(一九二〇年) 三六歳
二月、千葉県孫子町に仮寓(沼のほとり)は太正二二年までの日記。
大正一〇(一九二一年) 三七歳
「提案遺書」「銀の匙」刊行。
大正一二(一九二三年) 三九歳
「天附島守」刊行。神奈川県平塚に家を建て昭和七年まで住む。「しづかな流」はその間の日記。
昭和六(一九三一年) 四七歳
「菩提樹の蔭」刊行。
昭和七(一九三二年) 四八歳
九月、平塚から東京赤坂へ移る。昭和一一年までの日記が「街路樹」。
昭和九(一九三四年) 五〇歳
十月、母鏡死去(八六歳)。
昭和一〇(一九三五年) 五一歳
詩集「環状」「母の死」刊行。
昭和一一(一九三六年) 五二歳
詩集「櫻の音」「海にうかばん」刊行。「道運」は昭和一四年までの日記。
昭和一二(一九三七年) 五三歳
「街路樹」、詩集「吾往かん」刊行。
昭和一五(一九四〇年) 五六歳
「道運以後疎開まで」は昭和一八年十月までの日記。母末子蜘蛛屋下産血で倒れる。
昭和一七(一九四二年) 五八歳
詩集「飛鳥」刊行。四月、母末子死去(六〇歳)。「家路」はこの頃の日記。
昭和一八(一九四三年) 五九歳
静岡県駿河村新間に転地静養。そのまま疎開になる。「梅ヶ谷」はこのときの日記。
昭和二〇(一九四五年) 六一歳
新聞から同じ駿河村羽島に移る。「羽島」はそれから帰京までの日記。
昭和二三(一九四八年) 六四歳
帰京して東京都中野の妻の生家と同居。
昭和二四(一九四九年) 六五歳
「鳥の物語」刊行。
昭和二六(一九五一年) 六七歳
「隨筆」は昭和三八年までの日記。詩集「蠶」刊行。
昭和三一(一九五六年) 七二歳
前年末から胆嚢その他の病氣のため入院をくり返す。
昭和三二(一九五七年) 七三歳
「くひな曲」刊行。
昭和三三(一九五八年) 七四歳
古利浜りの記(古謡の詩)を発表しはじめる。
昭和三五(一九六〇年) 七六歳
「中勸助全集(角川書店)刊行開始。
昭和四〇(一九六五年) 八一歳
一月、「中勸助全集」の完結と多年の文学上の業績により朝日文化賞を受賞。五月三日、蜘蛛屋下出血のため死去。六日、南青山玉窓寺にて葬儀。戒名 慈徳院勸助貞居士

男声合唱曲「岬の墓」

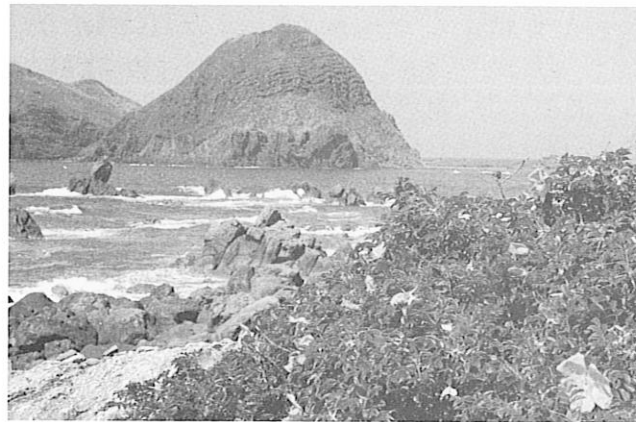
〈岬の墓〉

福永陽一郎

〈岬の墓〉は、1936年に作曲された混声合唱曲である。作曲者の團伊玖磨は1924年の生まれであるから、この〈岬の墓〉が作曲されたとき、人生の半ばに差し掛かっていたわけで、さして初期の作品というのは当たらないかも知れないが、〈二つの碑銘〉で、その次が〈岬の墓〉だったので、印象としては、比較的初期の作品のように思える。

1963年の夏から秋にかけて作曲された〈岬の墓〉は、同年、木下保の指揮により、CBC合唱団によって、放送・初演された。その年の芸術祭合唱部門で、芸術祭賞、文部大臣賞を受賞した。團伊玖磨は、1960年代から、さかんに合唱曲を作曲するようになるが、〈岬の墓〉を作曲した当時までは、あまり積極的に合唱音楽の創作に力を入れていなかった。

しかし、合唱曲〈岬の墓〉を作曲するまでに、團伊玖磨は、オペラ〈夕鶴〉という不滅の名作をはじめ、歌曲の分野で、数多くの作品を発表していたから、声楽的な扱いは手慣れたもので、合唱曲の作曲に、それほど積極的でなかった当時の作品としては、どこにも無理がなく、この作曲家の特徴であるスケ-



堀田善衛 1918~

慶應義塾大学在学中から同人誌に詩・詩論を発表。1945（昭和20）中国へ渡り上海で敗戦を迎えた。'47帰国後、上海での敗戦体験に取材した「祖国喪失」「歯車」などを発表。'51「広場の孤独」で芥川賞を受け〈第二次戦後派〉作家として知られた。広い国際的視野から現代社会の矛盾を鋭くとらえ、現代人の直面する諸問題を追求する作風は従来の日本文学に見られない新しい可能性を示すものとして注目された。以後「歴史」「時間」「夜の森」「記念碑」「奇妙な青春」「鬼無鬼島」「海鳴りの底から」などの長編を次々と発表。アジア-アフリカ作家会議や、インド・中国訪問など旺盛な活動を続ける。「方丈記私記」などのほか「インドで考えたこと」「上海にて」文明批評のすぐれた評論集も多い。

ルの大きさとやわらかい叙情が、ひとつの曲のなかに、うまく溶け合っている。

日本の合唱曲は、叙情のこまやかさにおいては、勝れた作品が多いが、男声的な雄渾な音楽に出会うことは、ごく少ない。そうして、たまに、スケールの大きい、太い線の表出を持った合唱曲があると、ソフィスティケイテッドな感覚の優美さに欠けていることが多い。そうした傾向を多分にもった日本の合唱音楽作曲家のなかで、ドイツ・ロマン派の大家、たとえば、ブラームスの作品に見られるような骨格の太さを見せながら、同時に、日本人独特の優雅さを保っているのが、團伊玖磨の合唱曲を、他の作曲家のものと区別している、得難い特徴であろう。

堀田善衛の詩は、この曲のために創作されたオリジナルである。死んでしまった過去、迷いと漂流の現在。光輝あるものとしての未来。こうした時のありかたを対置しながら、絶対の真理を見つめる者のきびしさを、墓、舟、水平線、そして赤い花というふうに見象化して、永遠の問い掛けを提出したものである。

團伊玖磨は、この詩を、交響曲風とともと言えるようなパースペクティブでとらえ、15分ちかく演奏時間のかかる、大きな拡がりを持つ一曲に仕上げている。雄大なうねりの線の主題が、全体をつらぬく中心的な楽想として、終始あらわれるが、墓、舟、赤い花などは、それぞれ固有のモチーフによって支えられており、言葉の具体性と照応している。

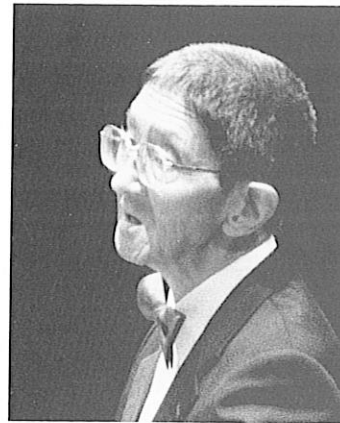
水平線の彼方という「意味」は、やや平凡な音階の利用で処理されていて、もの足りなさを感じさせるが、その美感は、おさまるべきところにおさまっていて、不自然さはまったく無い。

男声合唱のための編曲は、1976年の春に、東京六大学合唱演奏会で早稲田大学グリークラブがうたう為に行われ、私自身の指揮で初演された。同志社グリークラブでこの曲を指揮するのは、今回が初めてである。

團伊玖磨 1924~

下総統一・諸井三郎・近衛秀麿らに師事。1952（昭和27）オペラ「夕鶴」で毎日音楽賞等種々の賞を受ける。このオペラは現在までに300回以上上演されており、外国の訳詞で欧米の劇場でも上演され日本の創作オペラ運動の一里程標となった。作品は、交響曲・管弦楽曲・歌曲・合唱曲・映画音楽等にわたるが、主力を注いできたのはオペラの分野であり、「夕鶴」以後も「聴耳頭巾」「楊貴妃」「ひかりごけ」などの力作を生んでいる。なかでも極限状態の人間を扱った'72「ひかりごけ」は音の面でも、器楽の分野における'65「合奏協奏曲」とならんで、従来の穏健な伝統的手法から踏み出した意欲作として注目された。'74芸術院会員。随筆家としても「パイプのけむり」シリーズで著名。

同志社グリークラブ技術顧問 福永陽一郎



〈私と同志社グリークラブ〉 福永陽一郎

1953年に、東西4大学合唱連盟の、第1回の演奏会が、9月22日に京都の同志社栄光館と、9月23日に大阪のサンケイ・ホールとで、1回ずつ開催された。私は、そのコンサートを聴くために関西まで出掛けていった。

当時のこの催しは、それぞれの定期演奏会の日程が、初夏だったり12月だったり、あるいは次の年に食い込んで1月だったりして、バラバラだったし、合唱コンクールに出場する団体と、それをしない団体と、年中行事も種々さまざまだったから、スケジュールの調整もスムーズに進行せず、早慶同関で連盟を組むこと自体は、1950年代の始めには合意に達していたのに、演奏会の実行には、いろいろと手間どって、1953年の9月に、ようやく合同演奏会開催に漕ぎつけたのであった。

次の年、1954年度は、主催マネジメントが東京に移り、旧・日本青年館で第2回合同演奏会が開催されたとき、合同演奏、の指揮を私がすることになり、そのとき、同志社グリークラブと私の、初の出会いがあったことは、もう、幾度も、語ったり書いたりしてきたから、ご承知の方も多いだろう。

同志社グリークラブの定期演奏会に、ほかの大学グリークラブの話が出てくるのも、すこし珍妙なのだが、私は、父親が関西学院グリークラブの出身であったことも含め、1940年代までは、合唱といえば関西学院グリークラブだけの一木槍だった。かつて『トンネル・ハーモニー』と呼ばれた、和音を清澄なものにすることだけが、日本のうまい合唱団の最重要なテーマであって、関西学院グリークラブの合唱が、その基盤であり模範であるという時代である。

初めて聴いた同志社グリークラブの、ある意味で自由奔放な合唱のやりかたに、はじめはビックリするばかりだったが、そのころ既に、専門の音楽家としての修行をスター

1926年、神戸市生まれ。指揮法・オペラ演奏法関係では、近衛秀麿、マンフレッド・グルリットに師事。

オペラ関係の経歴としては、1951年2月、藤原歌劇団に練習ピアニストとして入団。9月、合唱指揮者陣の一人になる。53年、公演指揮を始める。1954年、歌劇〈マノン〉大阪公演でオペラ指揮者としてデビュー。1956~64年、藤原歌劇団常任指揮者。56年9月~12月の同団アメリカ・カナダ公演旅行に同行指揮。1959年~67年、NHK主催〈イタリア・オペラ〉公演に副指揮者・合唱指揮者として参加。1959年11月、藤沢市民交響楽団、結成・発足。72年藤沢（神奈川県）文化担当参与に就任。73年10月、藤沢市オペラ第1回公演〈フィガロの結婚〉。1986年、〈アイーダ〉4回公演（1985）、〈ウイリアム・テル〉日本初演（1983）、藤沢市民オペラ等の意義ある事業の推進主体としての『藤沢市民会館』が、86年度「音楽之友社賞」を受賞。

また、合唱音楽関係の活動と指導としては、1953年、第2回東西四大学合唱連盟の音楽会の合同演奏の指揮を引き受けたのを機会に、アマチュア合唱団の指揮を開始。以来、同志社、西南学院のグリークラブ、法政大学のアカデミー合唱団、早稲田大学グリークラブ、小田原男声合唱団、藤沢男声合唱団、それに湘南コーラル・グリューンなどの常任指揮者ならびに類似の専任指揮者を現在に至るまで歴任、または重任。ほかアマチュア合唱団への客演指揮、多数の講習会の講師、コンクールの審査員など、35年間におよぶ合唱活動を続けている。

トさせていた私は、関西学院グリークラブの合唱のほか、音楽の表現には、多々種類があることを悟らされたのであった。

同志社グリークラブと早稲田大学グリークラブ、どちらとも、常任指揮や専任指揮の契約が存在するわけではないのに、他人の目には、私が、東西両方の大学合唱団を牛耳っているように見えることもあるらしい。さきにも述べたように、関西学院グリークラブの合唱によって産湯を使った私。戦争に負けたあと、旧・帝国劇場にあった稽古場が、勤務先であった私。その旧・帝国劇場を会場にして、戦後の第1回定期演奏会を開いたのが慶応義塾のワグネル・ソサイエティ。しがらみは、関西学院グリークラブと慶応義塾ワグネル・ソサイエティのほうに、より太く、より長く、より深いものがあつた私が、結局、いまになって、むしろ因縁の薄かった同志社と早稲田大学と、両方のグリークラブとのあいだに、切っても切れない「えにし」が生じてしまったのも、これをも運命というか。

私は、とくに、レギュラーに指揮している合唱団に、自分の音楽上のポリシーを押しつけているつもりは無いのに、むしろ、音楽面とは別に、この、同志社と早稲田のグリークラブの生活体系に、共通点が急激に増加してきたことに、われながら、驚いているところである。

私は、もう、人生の夕暮れに近づいているというのに、東京と関西の両極に、同じような拠点を持つことができているのを、これほど有り難い神からの賜物は、ほかにはないと自覚し、その心底からの感謝の気持ちを、私の（私の指揮する）音楽に反映させることに、常々、精根を傾けたいと、心掛けているつもりである。

今夜も、天からの善き力が与えられるよう、祈りながらステージにのぼる私である。

Lieder eines fahrenden Gesellen

さすらう若人の歌



〈さすらう若人の歌〉

1878年にドイツの詩人ルドルフ・バウムバッハが出版した自らの詩集のタイトルを〈さすらう若人の歌〉とし、この詩集はベストセラーになったのである。これらの詩の多くは酒宴の歌であり、作者が描いているのは専ら酒、女、歌ばかりに興味を抱いて呑気に旅を続ける放浪学生や丁稚小僧である。マーラーが同名の歌曲集に自分で付けた歌詞との違いはあまりにも大きい。バウムバッハの詩は学生組合の歌のようであり、それ以上にナショナリズムと反カトリックの色彩が強かった。それに対してマーラーの叙情的な詩は様式の上では決して独創的というわけではなく、バウムバッハから借用を行っている箇所もあるほどだが、そこには人間が巻き込まれた深刻な状況が表現されているのである。そこで語られているのは、失恋した男がさすらいの旅に出て、自然の中でそれを忘れようとし、その悲しみから逃れるために眠りや死を考える、といった話である。マーラーは音楽のみならず詩に関しても情感に訴える力が非常に強く、通常民族音楽にみられるようなものの比ではない。その歌詞（P 17参照）を読んだだけでも、バウムバッハには及びもつかない表現力と深みを感じられる。

〈さすらう若人の歌〉は1883年（マーラー23歳）12月から85年1月にかけて作曲され、1896年3月16日ベルリンで作曲家自身の指揮、アントン・ジスターマンズの独唱、管弦楽はベルリンフィルで初演された。

この曲は二つの意味で、「マーラーの自伝的作品」といわれる。カッセル王立劇場副指揮者時代の、コロラテューラ歌手、ヨハンナ・リヒターとの失恋体験がこの作品に投

影されていること、そしてマーラーが若い頃から自らを生涯安らうことのないさすらい人と考えていたこと、による。友人フリードリヒ・レーアに宛てた、1885年1月1日付けの手紙では、その失恋について打ち明けたあと、この歌曲集について、「運命に弄ばれたひとりの旅する男が、いまや世間に出て、いずことなくさすらうというように着想されている」と説明する。この手紙に〈さすらう若人の歌〉は6曲からなる、と書かれているが、これが現在の4曲になった経過については、十分なことは分かっていない。また、これには作曲の完了も告げられているので、ピアノ伴奏によるオリジナルの作曲年代については、およそのところが推定できる。興味深いのは、その後の改訂、オーケストレーションの時期が、交響曲第1番の改訂と重なる事実である。〈さすらう若人の歌〉と交響曲第1番に共通の素材がみられることは有名であるが、このような事情を考えると、両者の影響関係には即断できないものがある。



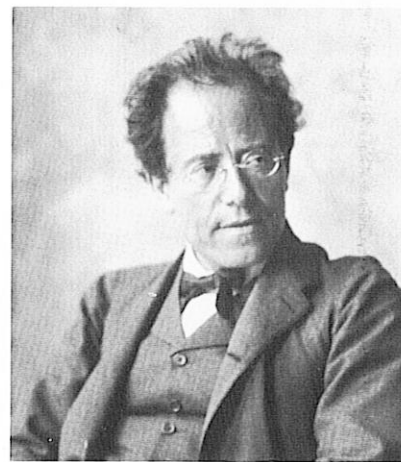
〈グスタフ・マーラー～その時代と音楽〉

音楽は心臓の鼓動から始まる。不安と死への陶醉に向けられた混沌の時代での足音。「やがて私の時代がくる」と叫んだマーラーの音楽は新たな世紀末を迎えた今、次々に蘇ってきている…。

マーラーの時代は世紀末から世界大戦に向かっているどん詰まり、混沌としたヨーロッパのデカダンスの時代であり、その長大な交響曲には世紀末の退廃の匂いを一身に背負い込んだような雰囲気が漂う。世紀末芸術の特徴は「死」と「倒錯性」と「東洋への脱却」の三つではないかと思うが、「死」は従来の価値観が行き詰まったこの時代全体の不安な影として芸術家全体を覆うと共に、マーラーにとっては、そのバイオグラフィーに密接に関わり、彼の音楽の源泉ともなった。東洋への脱却はマーラーの音楽の中では単に表面的な東洋趣味ではなく、現代的な虚無感を表現するものとして、あるいは、古典音楽の規則や習慣を突き破り、今までにない調性や冗長な形式を作り出していったという点で特徴的に現れていると思う。

マーラーが「やがて私の時代がくる」と叫んだのは有名な話である。事実その通りになったのだが、そこには偶然という言葉は存在せず、マーラー音楽への時代の要求があるからなのではないだろうか。新たな世紀末を迎えた今、西洋合理主義的なモダニズムが行き詰まりを見せ、目的のない不安に満ちた混沌の時代を迎えているが、マーラーの音楽は情感に満ち溢れているが、時に空虚であったり大爆発を起こすなど、現代人の感性をさらけだしている。マーラーの音楽には意味であるとか解釈ということを超えた曖昧さが共存しており、調度サーカスでラッパが意味もなく吹き鳴らされるように、楽器が大音場をつくりだしたと思えば突如感傷的になったりする。感情も明晰なものではなく、人生への漠然とした不安や社会や死に対する曖昧な恐怖感のようなものが源泉となっているのではないかとも思う。

考えてみれば現代に生きる我々も、真剣に生きれば生きるほど漠然とした不安と戦わねばならない。理由があつて悲しいといったことだけでなく、何か人生に対してつかみ所のない不安を感じる社会でもある。そんな価値観のはっきりしない混沌の時代であるからこそ、不条理と矛盾をそのまま肯定したような

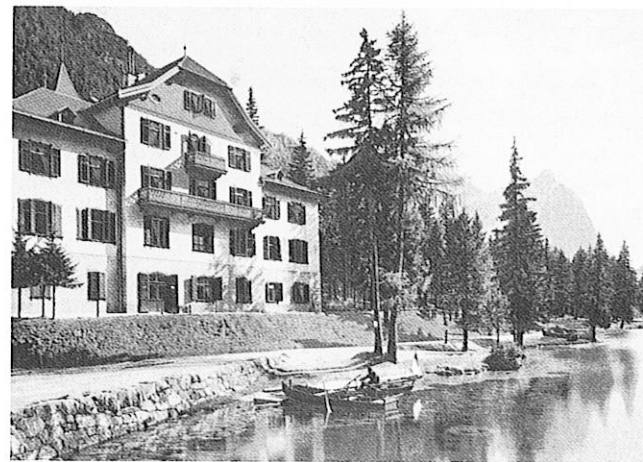


マーラーの音楽はよけいに迎え入れられたのだといえると思う。トランペットの高鳴りに青春の激情を感じ、弦の不安定なハーモニーに憂鬱を感じ、短調と長調の交錯に入り交じる不安と期待を感じ、不自然なオーケストレーションに社会の喧騒を感じ、マンドリンの微かな音に夏の夜の孤独を感じる…。そうすることによってマーラーは我々のすぐ側にいるといえるのではないだろうか。そして、そのような情感を保っているからこそ、マーラーは行き詰まった現代音楽より現代的であるし、この時代最も愛されている作曲家となっているのだ。

さて、マーラーの創作活動の二本柱は交響曲と歌曲であったが、「さすらう若人の歌」は歌曲の代表作である。曲は失恋の悲しみの歌に始まり、2曲目では自然の美しさを称え、明るさを帯びるが、やがて自分への寂しい懐疑にもどる。3曲目で苦しみが一気に激情となって吹きだし死の予感とともに消え、終曲では葬送行進曲のリズムが現れ、苦悩が拭い切れないながらも、東洋的な諦念と倒錯的な夢心地の中で終わっていく。

この曲に関して大切にしたいのは、第一に若い感情の表出である。「さすらう若人」という語感の持つ魅力と共に、詩と音楽の性格からもこの曲は青年期の我々の感情と覆い重なる部分が多い。さすらいとは、魂の彷徨のことである。何を目標にしているか分からない時期、何かを必死になって摸索しようとするこの時期、…失恋という体験もさることながら、時代を覆う漠とした不安と戦い、いろんな挫折に会い、同じ事を繰り返し、青春の意欲と世界の不透明さとの矛盾に真理の光を見失ってしまう時…様々な意味で「さすらう若人」である我々は、現世への盲目的な追従を拒否したとき、その漠とした浮遊感の中で真の自己と人生を体感し得る。しかし、その世界で生きていかねばならないこととの矛盾と恋愛感情との矛盾が一体となってさすらいの途にのしかかる…そんな時期の複雑な感情のいろをこの曲に向かってぶつけてみたとき、この音楽の持つ真の輝きを見出し表現する事ができるのではないかと思う。大切なのは挫折を乗り越えることでも、さすらいにピリオドを打つことでもなく、その魂の彷徨の中で「憧れ」の気持ちを持ち続けること…それを抱き締めたくなる感情を忘れずにいることであるようにも思うのだ。

第58代学生指揮者 伊東恵司



GREAT NUMBER FROM BROAD WAY MUSICAL

ブロードウェイミュージカル名曲集

ブロードウェイ・ミュージカル 福永陽一郎

『ブロードウェイ・ミュージカル』という名で呼ばれる舞台演目が、誕生したのはいつであったか？そして、最初の『ブロードウェイ・ミュージカル』と呼ばれた作品は、何という題目であったか？

また、『ブロードウェイ・ミュージカル』とは何であるか？ロンドンで初演されたミュージカルも、同じニューヨークでも、オフ・ブロードウェイという別の劇場街に咲いた、小さくとも大きな感動を呼ぶ名作も存在するというのに。

ニューヨークというメトロポリスの、今では最大の劇場街であり、ミュージカルという商業演劇のメッカでもあるブロードウェイも、はじめから、そうであったわけではない。

長い年月を重ねるうちに、しばしば、抜き出た、驚異的なビッグ・ヒットとそのロングラン、そして、何度も何度もリヴァイヴァルされて、なお、一向に衰えぬ人気を、次から次へと生み出すことによって、その盛名とステータスを、みずから築きあげてきたのである。そうして、『ブロードウェイ・ミュージカル』という呼び名は、その作品の質や名声を保証するものとして、それ自身、きらびやかな、豪華絢爛、贅沢の限りを尽くした劇場娯楽の王者、イルミネーションの目映い劇場街のイメージと、分かち難く結びついているのである。

ブロードウェイに、新しい形式の音楽劇が出現したのは、二十世紀の初頭であった。ヨーロッパには、オペラ・ブッフア、あるいはオペラ・コミック、という、芸術性を問うのではなく、むしろ娯楽のほうに傾いた音楽劇の伝統があった。その伝統は、十九世紀に花開いて、オペレッタ、と呼ばれる舞台作品が数多く生まれ、その豪華さや娯楽性

の高さで、一世を風靡したものであった。やがて時代が進み、オペレッタは、旧き良き時代の劇場エンタテイメントとして、一種の古典性を帯びるとともに、その形式や様式は、古めかしいという印象を拭えなくなった。

十九世紀の終わりころ、ロンドンのサヴォイ劇場街に絢爛たる花盛りをもたらした、ギルバート・サリヴァンのオペレッタのわずかながら劇場をニューヨークに移して、なお、盛名を馳せ続けていたけれども、アメリカには、独特の新しいライト・ミュージックとして、黒人社会の落とし子であるジャズが発見し、それが、白人の好みに合うようにソフィスティケートされてラグ・タイム、というポップ・アップされたリズムとなり、これが、やがて流行のきざしを見せはじめていた。そして、とうとう1903年の初頭、いっとう最初の『ブロードウェイ・ミュージカル』として、そのマジスティック劇場において〈オズの魔法使い〉が、世界初演の幕を切って落とした。

それまでの、ニューヨークに移植されたオペレッタが、ヨーロッパの上流社会が、〈ミカド〉のように、珍奇なエキゾチズムに冒された架空の国が舞台とされてきたのに反し、〈オズの魔法使い〉は、舞台をアメリカのカンサス州に持ってきただけでも新機軸であり、アメリカ産という意味で、制作者とそのスタッフ、キャストともども、自前で揃えたことでも、単に新しいという以上の、新しい形式・様式の舞台作品を創造しようというフレッシュなセンスが、作品のすみずみまでみなぎっていた。

本日の曲目は、いずれ劣らぬ『ブロードウェイ・ミュージカル』の傑作歌曲であるが、〈虹の彼方に〉だけは、この世紀的壮挙である1903年の〈オズの魔法使い〉初演で使用されたものではなく、1939年の映画化のときに、主役でデビューしたジュディ・ガーランドのために、とくに作曲され挿入された新作である。



OVER THE RAINBOW 「The Wizard of Oz」

〔物語〕カンサスの少女ドロシーと、そのペットの牛イマジーンは、大きな龍巻きに飛ばされてマンチキン国へ到着する。ドロシーは、カンサスへ戻る方法を教わるために、オズの魔法使いに会いに行く。ドロシーは途中で出会った脳みそを求めめるカカシと、心を探る木男を連れて道を進み（ライオンは重要な役として登場しない）、オズの国の王位争いなど数々の冒険に巻き込まれるが、時には魔女の助けを借りて進み、なんとかオズの魔法使いに会うことができる。

INDIAN LOVE CALL 「Rose-Marie」

〔物語〕舞台はカナディアン・ロッキー、ローズ・マリーは小さなホテルの歌手である。毛皮商人のエド・ホーリーが結婚を申し込んでいるのだが、彼女はジム・ケニオンが好きなので、首を縦に振らない。

インディアンのブラック・イーグルが殺された時、ジムは犯人ではないかと疑われて山中に逃げ込んでしまう。ジムの殺人

BEGIN THE BEGUINE 「Jubilée」

〔物語〕ヨーロッパにある王国、王家ではシルヴァー・ジュビリーの式典の準備が進められているが、王家一族は皆その規則ずくめの生活に飽きている。そこで、国王と王妃、王子と王女が相談し、城を抜け街へ出ておしおひで楽しもうという話になり、すぐさま実行する。

王様は街で宮廷の遊びを披露、王妃はあこがれていた映画ス

NIGHT AND DAY 「Gay Divorce」

〔物語〕女優のミミは、退屈な夫と離婚するため、英国の海辺の保養地へやって来た。金で雇った男と浮気のふりをして、

OKLAHOMA! 「Oklahoma!」

〔物語〕州として独立する直前のオクラホマ。牧童のカーリーは、牧場主エラー・マーフィーの姪ローリーを村で行われるボックス・ソーシャルに誘いに来るが、ローリーはジャッドと行くからと言って断ってしまう。ジャッドも牧童で、カーリーの恋敵なのだ。ローリーも本当はカーリーが好きなのだが、彼の気を惹くためにわざと断った様子。

そこへウイルが現れて、カンサスへ行って来た土産話をして、投資大会で優勝して賞金が入ったので、やっと判事の娘アド・アニーに求婚できると話す。

カーリーはローリーと仲なおりして、やっとボックス・ソーシャルの約束をとりつけるが、ローリーは『人が噂するので』あまり言わないでという。ところが、ローリーは夢の中で、カーリーを選ぶかジャッドを選ぶか迷い、カーリーを選んだため、ジャッドが怒り悪魔のようになってしまうシーンを見る。何か悪い予感を感じた彼女は、夢の後で現れた本物のジャッドにボックス・ソーシャルの相手を決めてしまう。

急に変わったローリーの態度を不信に思いながらも、カーリーはほかの娘を誘ってボックス・ソーシャルへ行く。ボックス

OL' MAN RIVER 「Show Boat」

〔物語〕1880年代のミシシッピー河、アンディー船長は『綿の花』号というショー・ボートを率いて、河を往き来している。一座の花形はジュリーとステイヴンの夫婦である。ショー・ボートには、彼らのほかにも船長の娘マグノーリアや荷役人夫の黒人ジョーなどがいる。

ナチスの港で興業をしている時、マグノーリアは偶然出会った賭博師のゲイロードと恋に陥る。マグノーリアが幸福に酔いしれている間に、ジュリーには大変なことが起こる。前からジュリーに横恋慕していた男が、相手にしてもらえない腹いせに、ジュリーに黒人の血が混じっていることを密告したのだ。州内では黒人の血が一滴でも混じっている者と白人の結婚は禁止されている、というシェリフを前に、ステイヴンは妻ジュリーの手を切り、その血を吸って、『これで僕にも黒人の血が流れている』と抵抗する。しかし、結局はふたりとも逮捕されてしまう。一座のスターを失ったアンディー船長は、急遽マグノーリアとゲイロードを起用するが、これが大当たりとなり、ふたりは結婚する。

時は流れて1893年、マグノーリアとゲイロードは、シカゴの世界博へやって来た。賭博師稼業に戻ったゲイロードは大名暮

犯だと思いついたローズ・マリーは絶望してエドとの結婚を承諾してしまう。

一方、犯人を探していた山岳警備隊は、ブラック・イーグルの妻が自白したので、彼女を逮捕する。疑いの晴れたジムの追って、ローズ・マリーは山中へ。再会したふたりは、あらためて愛を確かめる。

ター（類人猿ターザンのような男）といちゃつく、一方、王子はナイト・クラブのカフェ・マルティニクへ乗り込んで、そのスターであるカレン・オケインと楽しむ（このシーンで『ビギン・ザ・ビギン』が使われる）。王女は夢にみている小説家兼劇作家エリック・デールとのデュエットを楽しむ。王様たちは街の生活を楽しむが、数日間身分を見破られて城の生活に戻っていく。

離婚しようというわけだ。ところが、ホテルのロビーでミミを見たガイは一目惚れしてしまふ。ガイはミミに雇われた男から合言葉を聞き出し、彼女に近づいて、本当にミミを手に入れる。

ス・ソーシャルは年に一度のピクニック。女の子が作って来たボックス・ランチを男たちが競売で買い、競り勝った男はその娘と一緒に食事ができることになっている。ローリーのボックスを得ようとカーリーとジャッドは争うが、結局、カーリーが41ドル35セントで自分のものとする。ふたりで食べた食事で恋を確かめ合ったカーリーとローリーは婚約の発表をする。ウイルもいろいろ紆余曲折があったもののアド・アニーと結婚できることとなる。

さて、カーリーとローリーの結婚式の当日。横恋慕したジャッドは、式の途中で泥酔して現れ、ナイフでカーリーに襲いかかる。カーリーは格闘するうちに、ジャッドを刺し殺してしまう。だが同席していた判事により彼の正当防衛は認められ、晴れてふたりは一緒になれる。



らしも束の間、借金を重ねたあげく、マグノーリアと小さな娘キムを残して姿を消してしまう。生活のために、マグノーリアはミュージック・ホールのオーディションを受けに行く。そのホールで歌っていたジュリーは、マグノーリアの姿を陰から見、アル中のふりをして役を譲ってしまう。マグノーリアは『舞踏会の後で』を歌い人気を得るが、噂を聞いたアンディー船長は娘をショー・ボートに連れ戻す。

再び時は流れ1920年代、マグノーリアの娘キムも、今は立派なレディーとなっている。そこへ戻って来たのは、中年となったゲイロード、マグノーリアとゲイロードは、過去を忘れ、再び愛を確かめ合う、幸せなふたりの前に雄大なミシシッピー河は今日も流れ続ける。

ヴォイストレーナー

大久保昭男



Akio Ohkubo

昭和28年、東京芸術大学声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事された。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筰指揮、オペラ「黒い船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」などにも出演された。昭和34年にはドイツ・リート、日本歌曲による第1回リサイタルを開かれた。

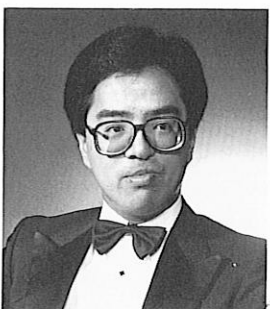
現在、昭和音楽大学短期大学部教授。また、慶塚義塾ワグネル・ソサイエティー、上智、立教、明治、関西学院、同志社の各グリーククラブ、早稲田コール・フリューゲル、法政アカデミー等のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍されている。

第85回定期演奏会、おめでとうございます。四年間という時間的制約一毎年、歌が立派に歌えるようになった頃に卒業してゆかなければならぬ運命は、今更言ってみても仕方ありませんが、何か惜しい気持ちがあるものです。しかし、そうした制約を持つことに大学合唱団の特徴があるとも言えましょう。

どんな世界の仕事も同じことですが、何か一つの素晴らしいことを仕上げるには、計り知れない沢山の苦労を重ねて、それを一つ一つ乗り越えてゆき、そしてやがてはその苦しみを忘れる頃に何かが出来上がってきます。

四年生が卒業して、また新たに一年生が入部してくる。そうした当たり前の繰り返しのなかから、常に何かを目指し、努力していくことに意義があると思うのです。

グリーにいる間に音楽を歌い上げる大切な苦労をすることによって、これからの永い人生に於て、力強い勇気をもって音楽を歌うことのように進んでいってくださることを願ってやみません。



Ikutada Nagata

ピアノ

長田育忠

同志社大学法学部卒業。器楽独唱、合唱の伴奏者として、また宗教音楽のオルガニストとして数々の演奏会に出演。

86年2月のポストン交響楽団京都公演(マーラー：交響曲第3番)の際、小澤征爾氏指揮による合唱練習に伴奏者として参加。同年6月京都にてジョイントリサイタルを開催。

ピアノを山下啓子、遠山つや、松野景一、山崎孝、N・ジョルジ(リスト音楽院教授)、H・ピュイグ・ロジェの諸氏に師事。和声学を島田和昭氏に師事。

現在は伴奏者として幅広く活躍する一方、合唱のための編曲も数多く手がけている。

90年1月、大阪にてソプラノとピアノによるジョイントリサイタルを開催予定。

今年もまたこのようにして、同志社グリークラブのメンバーと共に幸福な時間を過ごすことができ、心より嬉しく思っています。

幹事長の佐藤君から、今年の同志社グリークラブは多くの元気な一年生を迎えとても充実している、と言う話を何度も聞いていた私は、その「期待の新人」たちに逢うの楽しみに後期最初の練習に足を運んだのですが、上級生と変わらぬほどの真剣な表情で歌っている一年生たちの姿を見て、これは私も精一杯頑張らなくては、と思うと同時に、今年もきつといい音楽ができそうだな、と実感したのです。

今宵の「さすらう若人の歌」は、福永陽一郎先生の編曲された数多い男声合唱曲の中でも特に名編曲として有名で、福永先生をはじめ多くの立派な指揮者のもとで、いろいろな合唱団が名演を残しています。

学生指揮者の伊東君は、小柄ながらどこか哲学的な風貌の持主で、彼の棒のもと、今宵は若々しくかつ繊細なマーラーが演奏できるのではないかと、ひそかに期待しているのです。



Miyuki Kurosawa

ピアノ

黒澤美雪

昭和60年、東京芸術大学卒業。小林仁、谷康子、両氏に師事。在学中に藤沢市民交響楽団ベートベンチクルスオーデション、東京文化会館オーデション、NHK 洋楽オーデションに合格、演奏活動を始める。

国際ロータリー財団奨学生として、オーストリア、ザルツブルクの国立モーツァルトウム音楽大学に留学。H・ライグラフ、Ch・リースケ、両氏に師事。在学中にコンサート開催、学校推薦のコンサートに出演。

定期的リサイタルを開催、NHK-FM「フレッシュコンサート」出演などソコ活動の他、藤沢市民オペラの稽古ピアノ、室内楽、伴奏などでも、活発に活動中。

第85回定期演奏会、おめでとうございます。湘南で生まれ、育った私にとって、同志社大学は単に、関西の名門であるということを知っているだけの遠い存在でした。また、京都の街は、修学旅行の他、2~3回訪れただけの、遠い街のひとつにすぎませんでした。それが、この演奏会のおかげで、この見知らぬ土地にたくさんの仲間ができました。そして、その仲間と、一つのステージを作り上げようと努力してきました。「東男と京女」ならぬ「東女と京男」の組み合わせとなりますが、お互いの若さを「万年青年、福永先生のタクトの下に結集して、みずみずしい演奏ができたら幸せだと思っています。

男声合唱組曲「中 勸助の詩から」

(I) 絵 日 傘

とほりすがりのからかさ屋
軒につるした傘の
波の匂が風にいつて
子供の絵日傘かっつてきた
みいちゃんよっちゃんいらつしやい
絵日傘さして遊びましよう
ぱつと開けば麻の葉に
黄色い雲や赤い雲
とところどころの楡形は
源氏香といふもんよ
さしてまわせば朝蔭の
風も涼しいかざ車
横にまわせばくるくると
淀の川瀬の水車
おてつないで歌うとて
うちのお庭で遊びましよう

(II) 椿

わしがとこから五ちよべえくれれば
音に名だかい久兵衛さんの椿
まはりは六尺背は二十二尺
枝もさかえりや葉もしげる
しげる葉蔭にさかりの花が
二百三百しん紅に咲いて
おちたその実が目筈に五百
安いときでも一兩二分にやなるとき

(III) 四 十 雀

白いほをしてたずねてきたは
どこのこがらか四十雀か
ちいくるびいくるちいくるびい
松にうもれたこのわが宿に
ぬしと住もやれ千代までに
ちいくるびいくるちいくるびい
まつ葉のよにこんこまやかに
ふたりすもやれ千代までに
ちいくるびいくるちいくるびい

(IV) ほほじろの声

ほほじろの声きけば
山里そなつかしき
遠き昔になりぬ
ひとり湖のほとりにさすらひて
この鳥の歌をききしとき
ああひとりなりき
ひとりなり
ひとりにてあらまし
とこしへにひとりなるこそよけれ
風ふきて松の花けぶるわが庵に
頬白の歌をききつ
いざやわれはまどろまん
ひとりにて

(V) か も め

ゆりかもめ
鷺のはしはなぜ紅い
あなかしこ
ほそら姿がかはいとて
都乙女がくちつけた
ゆりかもめ
鷺の脚はなぜ紅い
あなかしこ
都乙女に逢ひにいて
つい紅血につまづいた

(VI) ふ り 売 り

歸りよしかね かん鯛安いよ
帰る 海べのそばち
すれちがふ 賤の女が
肩なる籠に はねるいろくつ
かははぎ かさこ
かん鯛 ぶだひ
いさぎよし 魚のかずかず
宿六が けふの海さち
山かげに 姿はきえて
潮風に のこるよびこゑ
さばよしかね かん鯛安いよ

(VII) 追 羽 根

五月の病氣このかた引籠つてた姉も
この頃は不自由ながら家のなかの用
が足せるやうになった。で、いよいよ
よ足ならしに外へ出ることになり、
第一日は筋向ふのお稲荷さんへお詣
りと話がきまった。姉は附添ひに
□さんをつれて出かけた。すぐ戻る
といったのが思ひのほか暇がかかる
のでどうかと気がつくとつてるところへ
ベルが鳴った。急いで玄関へ出迎へ
る。××さんがあけた格子から競技
に勝った子供みたいに得意にはひり
ながら境内をまはつてきた、といふ。
上出来だ。後につづいた□さんが、
これをおみやげにと手にもつた羽根
をすこしあげるやうにして私にみせ
た。露店で買ってきたのだ。

いち夜あければ初春の
夢を追羽子いたしましよ
羽子板もつて紅つけて
ひとりきなきなふたりきな
ふるや振り袖裾模様
帯は金欄たてやの字
黒のぼつくり鈴ちろり
見にもきなきなよつてきな
まるいむくろじ白い羽根
薫のすが糸青や赤
それ花のよに実のやうに
ちよんとつかれて空高く
あがるとすれどくるると
つちにひかれて舞ひおつる
乙女の夢の追羽子を
吹きてちらすな春の風

男声合唱曲「岬の墓」

日は高く
海^{うみ}の^へ辺の丘に
上^みって見^み下^{おろ}せば
きららに光る入江の青に
休^{やす}らう 白い美しい船
紺碧^{こんせき}の空から舞い下りて
水に休^{やす}らう美しい船

日は高く 海に
丘^{かみ}の^へ辺に影一つのこさず
岩^いの間に咲く 赤い花
日は高く 影^{うぶ}を奪^{うば}い
透明な海の風に
この岬の白い墓

美しい船よ
大いなる白鳥のように
休^{やす}らう美しい船よ
翼^{つばさ}をひろげて 船^{ふね}出せよ
深く滑らかに輝く別の大洋をめざして
海の調べにゆられつつ

この丘の辺の白い墓
影一つない真昼の丘に
白い墓
その墓の下にこそ
永遠^{えいぞう}の休^{やす}らいと暗い影
暗き休^{やす}らいはあり

美しい船よ 白い船よ
船出せよ
彼^{かなた}方にひろき水平の
その彼方へと

白い墓よ
その石の裂け目から
暗い影なる休^{やす}らいの
ことばを語れ

日は高く
真昼の海と
真昼の丘の辺に
永遠は光とたわむれ
風は何を語るや
海は波立つ

白い船美しい船
白い影なす墓の休^{やす}らい
日は高く
丘の辺の白い墓は
美しい船を見詰めている

岩の間に咲く赤い花に
われは何を聞こう……………。

1. Wenn mein Schatz Hochzeit macht
君がとつぐ日

Wenn mein Schatz Hochzeit macht,
Fröhliche Hochzeit macht,
Hab' ich meinen traurigen Tag!
Geh' ich in mein Kämmerlein,
Dunkles Kämmerlein,
Weine, wein' um meinen Schatz!

Blümlein blau! Blümlein blau!
Verdorre nicht! Verdorre nicht!
Vöglein süß! Vöglein süß!
Du singst auf grüner Heide!
Ach! wie ist die Welt so schön!
Ziküth! Ziküth!

Singet nicht! Blühet nicht!
Lenz ist ja vorbei!
Alles Singen ist nun aus!
Des Abends, wenn ich schlafen geh',
Denk' ich an mein Leide!

私の大切な人がとついでゆく日、
幸せな婚礼の日こそ
私にとっては悲しみの日だ。
私は自分の小さな部屋に
ほの暗い小部屋に入って
いとしい人のことを思っ泣いた。
愛する人のことを思っ泣いた。

青い花よ、青い花、
しおれるな、枯れるな。
かわいい小鳥よ、
お前は緑の野原で歌っている。
「ああ、この世はなんと美しいのだ、
パイチク、パーチク」と。

歌わないでくれ、咲かないでくれ。
春はもうすぎ去ったのだ。
すべての歌声はいまやとまった。
夕方に、眠りにつこうとするとき、
私は自分の苦しみを
自分の苦しみを思うのだ。

2. Ging heut Morgen über's Feld
露しげき朝の野辺に

Ging heut Morgen über's Feld,
Tau noch auf den Gräsern hing,
Sprach zu mir der lust'ge Fink:
"Ei, du! Gelt?
Guten Morgen! Ei, Gelt? Du!
Wird's nicht eine schöne Welt?
Schöne Welt? Zink! schön und flink!
Wie mir doch die Welt gefällt!"

Auch die Glockenblum' am Feld
Hat mir lustig, guter Ding',
Mit den Glöckchen, klinge, kling,
Ihren Morgengruss geschellt:
"Wird's nicht eine schöne Welt?
Kling, kling, schönes Ding!
Wie mir doch die Welt gefällt!" Hei-ah!

Und da fling im Sonnenschein
Gleich die Welt zu funkeln an;
Alles, Alles, Ton und Farbe gewann!
Im Sonnenschein!
Blum' und vogel, gross und klein!
"Guten Tag! Ist's nicht eine schöne Welt?"

さすらう若人の歌

Ei, du! Gelt? Ei, du! Gelt?
Schöne Welt?

Nun fängt auch mein Glück wohl an?!
Nein! Das ich mein', mir nimmer blühen
kann!

この朝野辺をゆくと、
まだ草の葉には露がおりていて、
鳥は陽気に私に話しかけてきた。
「ねえ君、おはよう
ねえ君、
すばらしい日になりそうですね。
すばらしい日だね。
この世はなんと素敵なんだろう。」

野辺の釣鐘草の花も
楽しく気のいい感じで
鈴をきんこんと鳴らしながら、
朝の挨拶を私に伝えてきた。
「すばらしい日になりそうですね。
きんこん、すばらしいことだ。
この世はなんと素敵なんだろう。
まあ本当に。」

そして、陽の光のなかで、
世の中はまさにきらめきはじめた。
どれもこれも、陽の光をうけて
音をだし、色づいてきた。
花も鳥も、大きいものも小さいものも。
「こんにちは、こんにちは、
すばらしい日になりそうですね。
ねえ君、すばらしい日だね。」

そこでまた私の幸福もはじまるのだろうか?
いやそうじゃない。決して私には
花が開くことはありえないのだ!

3. Ich hab' ein glühend Messer
灼熱せる短刀もて

Ich hab' ein glühend Messer,
Ein Messer in meiner Brust,
O weh! O weh! Das schneid't so tief
In jede Freud' und jede Lust,
So tief! So tief!
Es schneid't so weh und tief!

Ach, was ist das für ein böser Gast!
Nimmer hält er Ruh', nimmer hält er Rast!
Nicht bei Tag, nicht bei Nacht, wenn ich
Schliefe!
O weh! O weh! O weh!

Wenn ich in den Himmel seh',
Seh' ich zwei blaue Augen steh'n!
O weh! O weh!
Wenn ich im gelben Felde geh'
Seh' ich von fern das blonde Haar
Im Winde weh'n! O weh! O weh!
Wenn ich aus dem Traum auffahr'
Und höre klingen ihr silbern Lachen,
O weh! O weh!
Ich wollt' ich läg' auf der schwarzen Bahr',
Könn't nimmer, die Augen aufmachen!

私は胸のなかに1本のナイフを、
灼熱したナイフをもっている。
おお、なんと悲しいことだろう!
このナイフは、すべての喜びと
すべての楽しみのなかに深く深く

突きささっているのだ。
悲しく深くささっている。

ああ、なんという憎らしい客だろう。
それは決して休むことがないし、
決して癒うこともない。
昼もそうだし、
私が眠っている夜もそうだ。
おお、なんと悲しいことだろう!

私が天空に目をやると、
二つの青い目があるのがみられる。
おお、なんと悲しいことだろう!
黄色味をおびた野原をゆけば、
遠くのようにプロンドの髪が
風に吹かれているのがみられる。
私が夢からさめると、
私は彼女の銀のような笑い声のひびくのをきく。
おお、なんと悲しいことだろう!
私は黒い棺に横たわって、
二度と目を開けないでいたいと思うのだ。

4. Die zwei blauen Augen
君が青きひとみ

Die zwei blauen Augen von meinen Schatz,
Die haben mich in die weite Welt Geschickt.
Da musst' ich Abschied nehmen vom
allerliebsten Platz!
O Augen blau, warum habt ihr mich
angeblickt?
Nun hab' ich ewig Leid und Grämen!

Ich bin ausgegangen in stiller Nacht,
In stiller Nacht wohl über die dunkle
Heide;
Hat mir niemand ade gesagt.
Ade! Ade! Ade!
Mein Gesell' war Lieb' und Leide!

Auf der Strasse steht ein Lindenbaum,
Da hab' ich zum ersten Mal im Schlaf
geruht!
Unter dem Lindenbaum!
Der hat seine Blüten über mich geschneit,
Da wusst' ich nicht, wie das Leben tut,
War alles, alles wieder gut!
Ach, alles wieder gut!
Alles! alles Lieb' und Leid,
Und Welt und Traum!

私の恋人の青い二つのひとみ。
それが私を広い世の中に追いやった。
そこで私は、こよなく愛する土地から
去ってゆかなければならなくなった。
おお、青いひとみよ、なぜ私をみつめたのだ。
いまや私は永遠の悩みと傷心を抱いている。

私は静かな夜に
暗い荒野をこえて、出発した。
誰も私にさようならと声をかけない。
私の道づれは、愛と悩みだった。

道ばたに1本の菩提樹があり、
そして私ははじめて眠りについた。
菩提樹の下で。
この樹は、花びらを私に雪のようにふりかけた。
ここで私は世間がしたことを忘れてしまった。
なにもかもすべてがまたよくなった。
ああ、すべてが好調だ。愛も悩みも、世間も夢も、
みなよい方向に向っていた。

ブロードウェイ ミュージカル名曲集

1. OVER THE RAINBOW

Way up in the sky there's a rainbow shining
shining for you, shining for me.
Somewhere Over the Rainbow way up high.
There's a land that I heard of once in a lullaby.
Somewhere Over the Rainbow skies are blue.
And the dreams that you dare to dream really do come true.
Someday I'll wish upon a star
and wake up where the clouds are far behind me. far away.
Where troubles melt like lemon drops,
away above the chimney tops,
that's where you'll find me.
Somewhere Over the Rainbow blue birds fly,
Birds fly Over the Rainbow why then, oh why can't I?
There's a rainbow in the sky!
and I hope that bye & bye.
That's where we'll be.
Just you and me.
When all the world is a hopeless jumble
and the raindrops trumble all around.
Heaven opens a magic lane.
When all the clouds darken up the sky way,
there's a rainbow highway to be found.
Leading from your window pane.
To a place behind the sun,
Just a step beyond the rain.
If happy little blue birds fly beyond the rainbow,
why, oh, why can't I?

虹の彼方に

「空高く虹が輝いている
君のために輝いているんだ」「私のために…」
遙か空高く この虹の彼方にどこか
昔子守歌に聞いた国があるのです
この虹の彼方のどこかで空は青く澄みわたる
あなたが心から望んでいた夢もかなうでしょう
いつの日か私は星に願いをかけ
雲も遙か彼方に見えない場所で目覚めるのです
幾多の苦悩もレモンのあめのように溶けて消え去る
燦々のつべんよりずっと高い所
そこであなたは私に出会うのです
この虹の彼方のどこかで 青い鳥たちがとび交っている
それなのに ああ なぜ私にとべない訳があるのでしょうか
空に虹がかかっている
やがて私達も
そこへとたどり着きたい
あなたと私 二人だけで
世界が望みのかけらもない混乱におち入り
雨の粒がそこら中にはねまわっている時
天が魔法の道を開いてくれる
全ての雲が空の道をまっ暗にしまつても
虹のハイウェイを見つけれれる
それはあなたの部屋の窓から
太陽の向こう側へと続いている
雨の先へとほんの一步踏み出せば行ける場所へと…

2. INDIAN LOVE CALL

So echoes of sweet lovenotes gently fall
through the forest stillness
as fond waiting Indian lovers call.
When the lone lagoon stirs in the spring
Welcoming home some swany white wing
When the maiden moon riding in the sky
gather her stareyed dream children nigh.
That is the time of the moon and the year,
When love dreams to Indian maidens appear
and this is the song that they hear.
When I calling you, will you answer too?
That means I offer my love to you to be your own.
If you refuse me, I will be blue
And waiting all alone.
But if when you hear my call ringing clear
and I hear your answering echo, so dear.
Then I will know our love will come true;
You belong to me, I'll belong to you.

インディアン ラヴ コール

森の静けさの中を甘い愛の調べが
こだまして優しく降ってくる
愛し合い待ち続けるインディアンの恋人達の呼ぶ声のよう
に…
春になって寂しい沼がかすかな波をたてて
白い翼の白鳥におかえりなさいという時
空をのぼる清らかな月が
星の瞳をした夢の子供達をそばに呼び集める時
その時こそが年月が待ちわびた瞬間
インディアンの乙女の前に愛の夢が現れる時
そしてこれらが彼らの耳へとどく歌
私があなたを呼べば あなたも答えてくれるだろうか
それはあなたの恋人になりたいという私の愛の告白なの
です
もしあなたが断れば 私は落ち込んで
たった一人 待ち続けるでしょう
でも もし私の呼ぶ声が響き渡るのをあなたが聞きつけ
て
こだまして返って来るあなたの愛しい声が私の耳にとど
く時
私達の愛がかなえられたことを知るのです
あなたは私のもの 私はあなたのものとなるのです

3. BEGIN THE BEGUINE

When they begin the Beguine
It brings back the sound of music so tender,
It brings back a night of tropical splendour,
It brings back a memory ever green.
I'll with you once more under the stars.
And down by the shore an orchestra's playing,
And even the palms seem to be swaying,
When they begin the Beguine.
To live it again is past all endeavor
except when the tune clutches my heart,
And there we are, swearing to love forever
and promising never, never to part.
What moment divine what rapture serene,
Till clouds came along to disperse
the joy we had tasted,
And now when I hear people curse the chance that
was wasted
I know but too well what they mean;
so don't let them begin the Beguine.
Let the love that was once a fire remain an ember
Let it sleep like a dead desire I only remember
When they begin the Beguine.
Oh, yes, let them begin the Beguine. make them
play
Till the stars that were there before return above
you,
Till you whisper to me once more "Darling, I love
you"
And we suddenly know what heaven we're in,
when they begin the Beguine.

ビギン ザ ビギン

人々がビギンを踊り出すと
優しい音楽が再び流れ出し
きらびやかな熱帯の一夜が帰ってくる
今も色あせぬ思い出がよみがえる
再び僕はこの星空の下君と共にいる
渚ではオーケストラが演奏している
ヤシの木までもが揺れているよう
ビギンの調べに合わせて
あのひとときを今再び手にするなんてとうてい無理な話
だ
でもこの曲が僕の心をとらえている時は大丈夫
そこで僕らは永遠に愛し合うことを誓い
決して離れやしないと約束を交す
なんとすばらしい瞬間か なんと心安らかな嬉しいひと
ときだろう
かって僕らが味わったこの喜びを
雲がやってきて蹴散らしたのだ
そして今人々がチャンスを逃がしたことを悔やむ声かき
こえる時
私には彼らの言うことが充分すぎるほどわかるのだ
だから彼らにビギンを踊らせなさいでくれ
かって炎と燃えた愛の残り火をそのままにしておいてく
れ
私一人憶えているだけで死んだ欲望のように眠らせてお
こう
彼らがビギンを踊り出しても
そう ビギンを始めてくれ 奏でてくれ
かって輝いていた星が君の上にもどってくるまで
君がもう一度「あなた愛しているわ」とときやくまで
そして僕らはどんな天国にいるかを突然知るのだ
人々がビギンを踊り出すその時に

4. NIGHT AND DAY

Like the beat, beat, beat of tomtom,
when the jungle shadows fall.
Like the tick, tick, tock of the statly clock,
as it stands against the wall.
Like the drip, drip, drip of the raindrops,
when the summer show'r is through.
So a voice within me keeps repeating, you, you, you!
Night and day, you are the one.
Only you beneath the moon and under the sun.
Whether near to me or far,
it's no matter, darling, where you are.
I think of you, day and night.
Night and day, why is it so?
That is longing for you follows wherever I go.
In the roaring traffic boom,
In the silence of my lonely room,
I think of you, day and night.
Night and day, under the hide of me.
There's a, oh, such a hungry yearning burning
inside of me.
And its torment won't be through
Till you let me spend my life making love to you,
Day and night, Night and day.

昼も夜も

間につつまれた後のジャングルに
トントンとタムタムの音が響くように
壁際に立っている大時計が
チクタクと時を刻むように
夏の通り雨が去った後に
雨の粒がポタポタ落ちるように
僕の中であなたの名を繰り返して呼ぶ声がする
夜も昼も あなた一人だけ
月の下でも太陽のもとでもあなただけ
私のそばでも遠くでも
あなたがどこにいても関係なく
再び僕はあなたのことを考えている
夜も昼も ああなぜだろう?
どこへ行ってもあなたを想う気持ちがついてまわる
行きかう車の騒音の中でも
自分の部屋の静けさの中でも
昼も夜もあなたのことを考えている
夜も昼も 私の体の中で
そんな切なるあこがれが燃えている
その苦悩も消えはしない
あなたへの愛をつむぐ人生をあなたが許してくれるまで
は
昼も夜も 夜も昼も

5. OKLAHOMA!

They couldn't pick a better time to start in life!
It ain't too early and it ain't too late.
Startin' as a farmer with a brand new wife,
Soon be livin' in a brand new state!
Brand new state!
Gonna treat you great!
Gonna give you barley
Carrots and pertaters
Pasture for the cattle
spinach and termayters
Flowers on the prairie where the June bugs zoom
Plen'y of air and plen'y of room
Plen'y of room to swing a rope!
Plen'y of heart and plen'y of hope!
Oklahoma where the wind comes sweepin' down
the plain,
And the wavin' wheat can sure smell sweet,
When the wind comes right behind the rain.
Oklahoma, every night my honey lamb and I
Sit alone and talk and watch a hawk
makin' lazy circles in the sky.
We know we belong to the land
And the land we belong to is grand!
And when we say; Yeor! Ayipioeay!
We're only sayin' "You're doin' fine, Oklahoma,
Oklahoma! OK"

オクラホマ

何か始めるには人生で一番いい時だ
早すぎもしなければ遅すぎもしない
新しい嫁さんと農夫をはじめるか
もうじき新しい川に住めるぞ
川になるんだ!
目いっぱいもてなすぞ
大妻もやるぞ
ニンジンもじゃがいももある
ホウレン草にトマトもある
コガネムシの飛ぶ草原には花が咲いている
空気はうまいし広々として
ロープとふり回す場所もいっぱいある
人情と希望に満ちあふれている
オクラホマでは風が平原を吹き降ろし
小麦をゆらして確かにいい匂いがするんだ
雨上がりには風が吹きぬける時にはね
オクラホマでは毎晩かわい子供と
二人だけで座って話をしたり
鷹のんきに空に輪をえがくのながめたりするのさ
俺達はこの人間なのさ
俺達はこの土地はでっかいよ
俺達が「イヨオー イップアイオイエイ、と言うのは
「お前は最高だよ オクラホマ
オクラホマ OK」と言っているだけのことなのさ

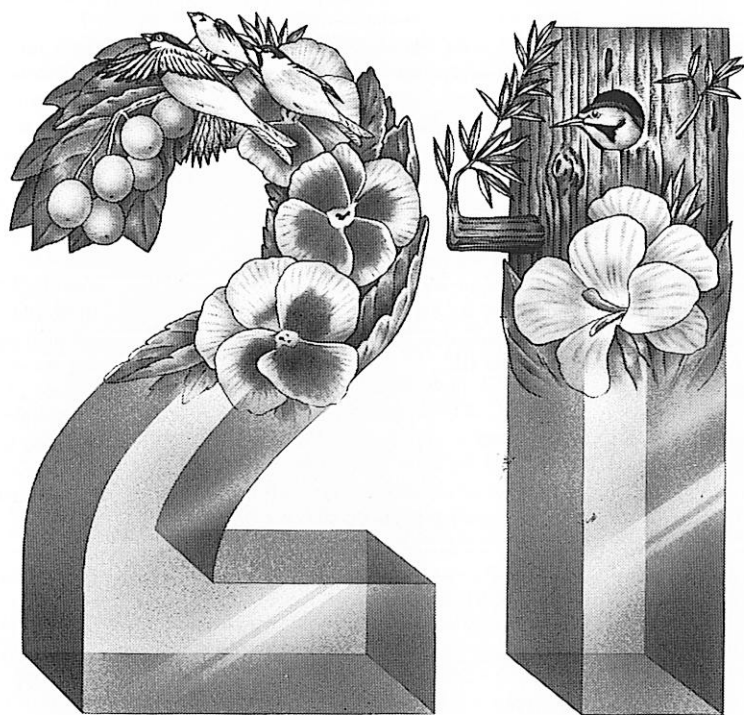
6. OL' MAN RIVER

Dere's an ol' man called de Mississippi,
Dat's de ol' man dat I'd like to be;
What does he care it de world's got troubles?
What does he care it de land ain't free?
Ol' man river, dat ol' man river,
He must know somethin' But don't say nothin'
He just keeps rollin', He keeps on rollin' alon'.
He don't plant' taters, He don't plant cotten,
An' dem dat plant' em is soon forgotten;
But ol' man river, he jes' keeps rollin' alon'.
You an' me, we sweat an' strain,
Body all achin an' racked wid pain.
"Tote dat barge!" "Lift dat bale."
Git a little drunk an' you land in jail.
Ah gits weary an' sick of tryin'
Ah'm tired of livin' an scared of dyin'
But ol' man river, he jes' keeps rollin' alon'
Coloured folks work on de Mississippi
Coloured folks work while de white folks play
Pullin' dose boats, from de dawn to sunset,
Gittin' no rest till de judgement day.
Don't look up, an' don't look down,
You don't dast make de white boss frown.
Bend your knees an' bow your head,
an' pull dat rope untill you're dead.
Let me go 'way from de Mississippi,
Let me go 'way from de white man boss.
Show me dat stream called de river Jordan,
Dat's de old stream dat I long to cross.
Ol' man river forever keeps rollin' on.
Ol' man river keeps hearin' dat song.

オールマン リヴァー

ミシシッピー川という名の今も生き続ける奴がいる
俺もあいつみたいになれたらいいもんだ
世界が混乱におちいってもあいつは何を気にかけよう
か?
この土地に自由がなくてもあいつは何を気にかけよう
か?
オールマン・リヴァー 川の姿をしたあのじいさんは
あいつは何かを知ってるはずなのに 何も語ってくれは
しない
ただひたすら流れ続けるだけ
あいつはじゃがいもも植えなきや綿もつくらない
そんなものをつくる人間なんかすぐ忘れられちゃうが
だけどオールマン・リヴァー あいつは流れ続けるだけ
お前も俺も汗まみれでがんばる
体じゅうが痛い 痛みが走る
「はしけを運べ」「欄を積むんだ」だと
ちよつと酔っばらえぶた箱行きだ
俺はもう疲れ切って何もする気もない
生きるのも疲れたが死ぬのもこわい
だけどオールマン・リヴァー あいつはただ流れ続ける
ミシシッピー川で黒人達は働く
白人達が遊んでいる時も黒人達は働いている
夜明けから日暮れまでボートを引いて
最後の審判の日まで休みなしに
よそ見をするな さぼるんじやない
白人のボスをおこらすなよ
ひざまづいて頭を下げろ
死ぬまで綱を引き続けるのだ
ミシシッピー川から離れたくない
白いボスから解放してくれ
ヨルダン川という川を見てみたい
それを渡ることが俺の切なる願い
あの川は永遠に流れ続ける
あの川はあの歌を聞き続ける

プラスチックを科学する。



あらゆる角度から、
その可能性を見つめ、
先進の技術と豊富な経験により、
プラスチックの新しい姿を追究します。

世紀へ向けて。

●パイプ部門 ●フィルム部門 ●成形品部門 ●メタル・プレート部門 ●住宅関連部門 ●タンク・タワー部門 ●新商品部門

三菱樹脂株式会社

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル ☎03(283)4010(直) ●支店・営業所/全国32カ所

(あなたをスカウトしています)



「美味しいコーヒーを飲みたくないか。」

毎朝の一杯はその日のようびが
託されていないなければならない。

朝きちんと起きて、きちんと出勤する。
学生時代とはかなり違う社会人生活が
あなたを待ち受けています。が「やる
気」の出る会社でなければ働くよるこび
もなく「行く気」がしないのも当然です。
ムラタは、朝のコーヒーがうまいと思
える「やる気」の出る企業だと思えます。
情報機器、物流システム、繊維機械、
工作機械の四事業部門が結束して今年
売上高一、七〇〇億円(経常利益三〇〇
億円)を達成しました。春にはファク
シミリ専用の大分工場も完成。五年後
売上高三、〇〇〇億円の一流企業となっ
て二十一世紀をめざします。そして同
時に社会とのかかわりを深める文化企
業として、多彩なイベントプロモーシ
ョンを積極的に展開して行きます。

- ヒューマントーク利根川進教授講演会(88)
- 全国都道府県対抗女子駅伝に協賛(89・1)
- ヒューマントーク第2弾カール・セーガン
博士講演会(89・5・京都国際会議場)
- その他、全米ゴルフトーナメントとFM放
送にスポンサー等

人にやさしいテクノロジー

村田機械株式会社

本社/〒612 京都市伏見区竹田向代町136 TEL075-672-8111(ダイヤルイン番号案内)
事業所/東京・大阪・名古屋・福岡など国内70カ所、海外28カ所 工場/愛知・群馬・石川・滋賀・大分

春合宿・夏合宿

合宿は年に2回あります。まず四回生が抜け新体制となる3月、四連へ向けての春合宿があります。今年は兵庫県の高尾高原で行なわれました。そして9月に定演へ向けての夏合宿があります。今年は長野県の北志賀で行なわれました。

オリエンテーション

オリエンテーションとはいわゆる新入生歓迎活動のことです。グリーンメンはかわいい新入生の女の子を横目で見ながら男子新入生に「なあーメシ喰わへん？」と声をかけるのです。この一言から新たなグリーンメンがまた一人生まれるのです。

六連運動会

5月3日、快晴の大阪城公園Aグラウンドにおいて、六連運動会がひらかれました。優勝しました。応援女子大の武庫川女子大学コーラス部のみなさん、ありがとう。

合コン合ハイ

毎日毎日、男だけのクラブに足繁く通うグリーンメンにとって唯一、女声合唱団の可愛い乙女の皆様と出会うのが合コンです。今年も多く多くの女声合唱団の皆様にお世話になりました。来年もどうぞよろしくお祈りします。

京都合唱祭

若葉薫る5月。今年も京都府会館に於いて京都合唱祭が盛大に行なわれました。我団は「Treue Liebe」と「Setdown Servant」の二曲を引っ下げての出演。力強く、良い演奏だったと評判も上々だったようで、部員一同満足出来た演奏会でした。



4月23日 タム女と合コン



5月3日 六連運動会



6月15日 同関交歓演奏会

同関交歓演奏会

そう、それは2年に1度フェスティバルホールで開かれる我等が親友関西学院グリーンクラブとのジョイントコンサートである。彼等には日頃から仲良くしてやっている、コメン、して貰っている為、その息はぴったりで、今年の合同演奏曲「タンホイザー」も、「あれ、今日は何か知らんけどメンバーが多いなー」みたいな感じで、何の違和感もなく歌えただよ。

東西四大学合唱演奏会

同関に、早稲田大学グリーンクラブと慶應義塾ワグネルソサイエティ男声合唱団をプラスした、春のビッグイベントである。6月24日、東京文化会館大ホールに於て昼夜2回、東京でも4,000人ものお客様から熱い拍手をいただくことができました。早慶ちゃん来年は鴨川でお水遊びをしましょうね。

お座敷

お座敷とは年間の公式コンサートの他に年々ミニ・コンサートのことです。学校の文化祭やパーティの催しもの、会社のパーティーや結婚式など、今年も色々な場所で歌わせていただき、どうもありがとうございました。来年もよろしいお祈りします。

演奏旅行

関西を中心に活動している私達にとって演奏旅行は他地域の皆様に我団の演奏をお聞かせすることが出来る大切な活動です。今年の演奏地は福島県いわき市。7月28日の晩、平市民会館大ホールに私達の歌声が響き渡りました。合唱活動の盛んな東北の地での演奏会ということで、出演前の部員の顔には緊張の色がかくせません。その中でも特に緊張しているのが一回生。なぜならこの演奏旅行のステージが彼らにとっての初舞台となるからなのです。この日の為に4月から練習にはげんできた一回生も努力の成果が実り、演奏会は大成功に終わりました。今回お世話になりました同志社大学いわきOB会の皆様を始め、暖かい拍手を贈って下さったいわき市の皆様どうもありがとうございました。

関西六大学合唱演奏会

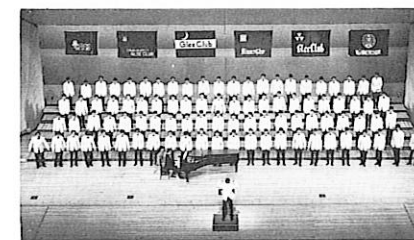
11月3日、フェスティバルホールにおいて関西六大学合唱演奏会が開催されました。単独ステージはマーラーの「さすらう若人の歌」。前からみるより客席からみた方がわかりやすいと評判の伊東恵司の指揮、そして長田育忠先生の伴奏によって90人のグリーンメンは熱唱したのでした。合同演奏は、富岡健先生指揮、久邇之直先生伴奏による「ラ・マンチャの男」でした。なおアンコール曲の「メリー・ウィドウ」においては、六大学の約450人でどどったのでした。

アニヴァーサリーコンサート

11月5日、京都の大谷ホールで同志社アニヴァーサリーコンサートが開かれました。これはグリーンクラブのOBたちで構成しているクローバークラブ、同志社混声合唱団、同志社中学・高校ボザナコーラス、同志社香里オルフォイスグリーンクラブ、そして同志社グリーンクラブと、同志社の合唱団が一堂に会したのでした。日頃、蔭ながら支えて下さっているOBの人たちと直にふれあえたという意義深いコンサートでした。

オーディション

10月に入り、1回目の福永先生の練習がおわれれば、そこはもう一面のオーディション。ピアノを中心とした8人組が、そこら中に発生する。「おーい、セカンドの奴、だれかおらへんか？」



11月3日 関西六大学合唱演奏会



12月22日 全同志社メサイア演奏会



2月17日 卒業生のためのフェアウェルコンサート

全同志社メサイア演奏会

年末の京都の文化的行事としてすっかり定着したメサイア演奏会が、今年も12月22日に行われます。(於：京都府会館)今年でメサイアも25回目をむかえます。同志社女子大のメサイア研究会、同志社交響楽団、そしてわが同志社グリーンクラブという同志社のクラブ・サークルによって演奏されるのです。格調高いクリスマスライブをすこしたいたあなたにおすすめの演奏会です。(開場5:00開演6:00)

炎の第九

今年初めて我団が出演する演奏会が「第九」です。これは12月26日に京都府会館、27日にザ・シンフォニーホールで行なわれる演奏会で、オーケストラを京都市交響楽団、指揮を小林研一郎氏が行なう一流のものでした。私達もこの一流の顔ぶれに負けないように、若さで「第九」にアタックしようかとがんばっています。

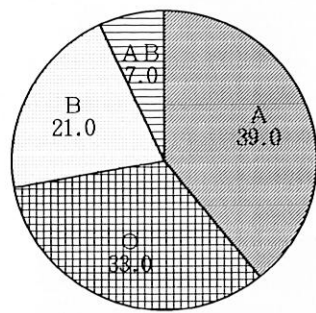
フェアウェルコンサート

音楽を共にした4回生が同志社グリーンクラブの一員としてステージに立つ最後の演奏会がフェアウェルコンサートです。卒団生は4年間のグリーンライフを思い出すのでしょうか、目に涙を浮かべ、一曲、一曲を歌います。それは卒団生を送り出す在団生も同じことです。「同志社グリーンクラブとはなんと素晴らしいクラブなんだろう。」ということを実感出来る演奏会、それがフェアウェルコンサートです。



平均的グリーンメン像

- *身長—172.3cm
- *血液型—



- *下宿生占有率—62%
- *ファッション—無関心
着ている服の総額 平均15,000円
(最低額2,000円 最高額150,000円)
- *1ヶ月の小遣い—35,000円

- *恋人保有率—18%
- *グリーンクラブに入学して良かったと思っている人—53%
- *容姿—ジャニーズ系から変なおじさんまで多種多様
- *性格—よくまとまった音楽が作れるものだと感心する程十人十色。しかし基本的には真面目。

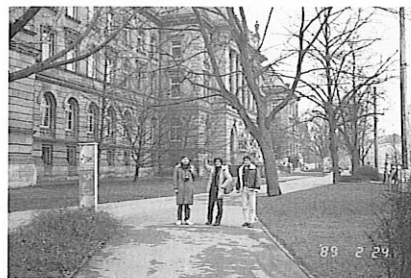
異端者



同志社グリーンクラブ「健康のための意識調査」より 集計・同志社グリーンクラブ情報処理センター 有効回答数 82

- *OFFの日の過ごし方
 - 多い回答 寝ている
 - その他 楽譜を見る、デート、OFFをかみしめる
- *クラブに入って得たもの
 - 多い回答 友人、疲労
 - その他 家庭における居心地の悪さ、張る喜び、恋人、身の辛さ、堤さん
- *クラブに入って失ったもの
 - 多い回答 時間、金
 - その他 青春、できるはずだった恋人、宇宙
- *クラブに対する不満
 - 多い回答 OFF増やせ、ノルマ減らせ
- その他 体育会的な雰囲気、ライブがない
- *クリスマスの予定
 - 多い回答 どうせ練習でしょう
 - その他 パリに行く、彼女とディナー、店の手伝い(年末は忙)
- *好きな女子大学
 - 1位 神戸女学院大学
 - 2位 武庫川女子大学
 - 3位 甲南女子大学
- *合コンしてみたい大学
 - 1位 京都女子大学
 - 2位 同志社女子大学
 - 3位 神戸女学院大学
- *100万円あれば何に使うか
 - 多い回答 ノルマを払う、車を買う
 - その他 100万円分の薔薇を買って好きな女の子に贈る、両親へのお年玉にする、金より時間くれ!
- *目下のところの夢
 - 3連休、4年で卒業、学指揮に昇格をする、アフリカに水田を造って富と名声を得る、プロ野球の選手になる、牛を飼う

ヨーロッパ演奏旅行 1989年2月20日~3月13日



1989年2月22日、シュパイヤーの教会でのコンサートで、この欧州演奏旅行の幕が切って落とされた。

石造りの重厚な壁に我々の歌が吸い込まれてゆく。ヨーロッパ最初のコンサートはそんな教会の荘厳さを、そして欧州の歴史の重さを部員一人一人に実感させるものとなった。

次なるコンサートの地は大聖堂の街、ウルム。ホームステイ先の人々の暖かい拍手に包まれたアットホームなコンサートであった。

ドイツでの最後のコンサートはビールの街、ミュンヘンの教会で厳かに行われた。

我々の演奏は、耳の肥えたドイツの人々をどうやら満足させることができたようだ。



フランクフルト空港に着いた早々、大事件発生。なんと、大多数の部員の荷物がシャルル・ド・ゴール空港に積み残されてしまった。これはもういきなりのパニック！結局、全員の手荷物が届いたのは翌日でありました。それにしてもあの時は冷や汗もんだったなー。

ドイツと言えば思い出すのは、ウルムでのホームステイ。やさしそうな夫婦のベンツに乗って行く者、綺麗な女性に付いて行く者、ドイツ語しか話せないお爺さんの家に行く者（ドイツの人はほとんどが英語を解します。）とそれぞれ色々な家庭のお世話になりましたが、ドイツの人達の優しさや親切心は一生忘れないうでしょう。Danke Schön.



ミュンヘンではやはりビールの旨さと、市庁舎前の広場で歌った即席演奏会が印象に残っています。おかしなおじさんの飛び入りも交じり、大変盛り上がりしました。



ギリシャの通貨をご存じだろうか。ドラクマといって、1ドラクマ=1円ぐらいである。物価は日本の1/2ぐらいなのだが、このドラクマ紙幣というのは、日



本にもちかえっても日本円にもどらないのである。そんなことも知らずに100ドル分も両替してしまい、何か金持ちになった気分であった。しかし朝は名所観光、昼は店が休み、夜はコンサートということで1000ドラクマも使わないうちに、ついにギリシャ最終日のアテネをむかえた。パルテノン神殿観光後、ドラクマを使いきらんべく、わけのわからない置き物や絵皿、人形、革製品などほしくもないものを山ほど買ってギリシャの旅はおわったのであった。



滞在中の3月6日~10日まで、連日連夜の演奏会であった。昼の2時から5時まではどの商店も昼休みをとってしまうというお国柄からか、演奏会の10分20分おちはあたりまえであり、その上お客さんの反応もあまりいいものとはいえなかった。しかし富岡先生にヨーロッパについてから編曲していただき、アルプスの山麓で音取りをしたアンコール用のギリシャ民謡は好評であった。

演奏曲目

☆Missa O Magnum Mysterium (T.L.VICTORIA)

☆男声合唱による風土記「阿波」(三木 稔)

☆Requiem opus 48 (G.FAURE)

☆日本民謡集

- 最上川舟唄
- 音戸の舟唄
- そうらん節
- 五木の子守歌
- おてもやん

☆愛唱歌集

- 上を向いて歩こう
- 箱根の山
- 赤とんぼ
- オレーグ公の歌
- Yesterday

☆宗教曲集

- Ave Maria (A. BRUCKNER)
- Locus iste (A. BRUCKNER)
- O Sacrum Convivium (VIADANA)
- Heilig (F. SCHUBERT)

☆現代日本合唱曲集

- 男声合唱組曲「花の伝言」より
神舞い (石井 欽)
- 男声合唱とピアノのための「祈りの虹」より
ヴォーカリーズ (新実 徳英)
- 男声合唱組曲「アイヌのウポポ」より
ピリカ ピリカ (清水 脩)
- 男声合唱組曲「草野心平の詩から」より
さくら散る (多田 武彦)

- 団長 澁谷 昭彦
- 指揮者 富岡 健
- 随行者 クラウス・シュベネマン



ギリシャ



第2の訪問国スイスは、ヨーロッパ中央部に位置するわずか九州程の小さな国であるが、雄大なアルプスの風景には、北海道出身である幹事長佐藤氏も驚いた！スイスでは、首都ベルン、ユングフラウへの登山口インターラーケン、そしてスイス最大の都市チューリッヒの3都市、いずれも地元有数の教会で演奏会を催した。殊に、チューリッヒでの演奏会は、先の2度のヨーロッパ演奏旅行でも訪れたと言うこともあり、会場には前回は懐かしんで来て下さった方なども混じり、暖かい雰囲気の中、とても良い演奏会を開くことができた。行程の半分を消化し、部員の中には疲れが見え初めて来る者もいたが、会場割れんばかりの拍手はそんな疲れも吹き飛ばしてくれた。



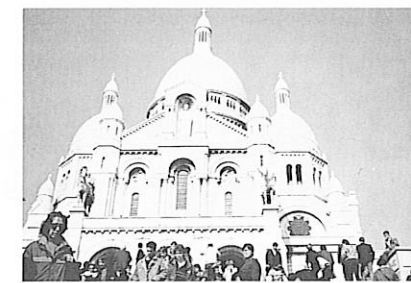
インターラーケンのユースホステルは静かな湖の辺りに位置する。3月2日—スイス。誰もが厳寒と積雪を思い浮かべていたのだが、とても暖かく草原は青く、まさに Sarem Lights (爽やかな二人だけの世界へ)。かくして富岡先生は、青空の下でのアンサンブルを企画して下さったのでした。アルプスを望みながらの素敵な練習なんて、もう一生出来ないだろうなあ。しかし、あのチーズフォンデュは、またいつか味わってみたいものだ。3月4日はチューリッヒで1日自由行動。チューリッヒ湖で遊覧船に揺られたり、彼のアインシュタインを輩出したスイス連邦工科大学を訪れたり、皆思い思いに余暇を楽しんだ。演奏会中訪れた町の内、私はこのチューリッヒが一番気に入っている。ローレックスやバ



リーと言った一流品店が軒を連ねるが、さほど華やかさは無く落ち着いた感じで、しかも庶民的な香りが漂っているのだ。俺もホイヤーの腕時計買えばよかった。



3月11日、ブローニュの森を見下ろすホテル・コンコルド・ラファイエットの一室で私は清々しく目を覚ました。前日に最後の演奏会を終え、今日はゆっくりとパリの雰囲気を満喫できる。



フランス

エッフェル塔、オペラ座にモンマルトルの丘。カフェでくつろいだ後は、彼女と約束しているオ・シャ・ドルマンの小物を探しに行かなければならない。そしてヨーロッパ最後の夜を迎えた。悪友共とシャンゼリゼ通りのレストランへ行き、ディナーの前にワインで、長く、楽しく、有意義だった演奏旅行に乾杯した。

これにて演奏旅行は幕を閉じることになる…と思いきや、エール・フランス274便大阪行き二階キャビンでミニコンサートが始まったのである。世界広しと言えども、北極点で演奏会を開いたのは同志社グリーンクラブくらいのもではないだろうか。

これは夢なのだろうか？糸の様に細く響き渡るホルン。小川のせせらぎの如く流れるバイオリン。フランス国立管弦楽団の方々を目の前にして、感激の余り涙を流したのは私だけであろうか。パリの最先端をゆくレ・アル地区内に建つサン・メリ教会にて、我々は現地の女声合唱団「ミモザ」、そしてフランス国立管弦楽団とで、富岡先生のタクトの下、フォーレのレクイエムを演奏した。演奏はとてもうまくゆき、会場を埋め尽くした1000人もの聴衆の拍手喝采は激しく、この感動は生涯決して忘れることはないであろう。





学生専科

- ★青春フル回転合宿のスイッチON
- ★幹事さんバンザイ三唱まちがいなし

合宿

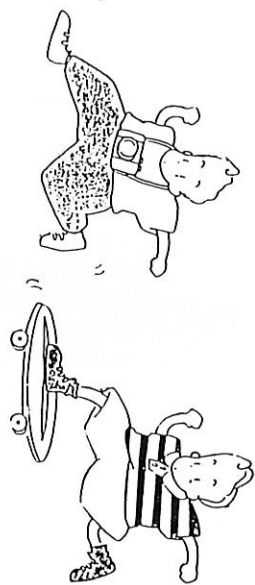
お申し込みは?

FREE **WAVE** デスク
フリーウェイ
京都府知事登録第6号
日本教育旅行
京都府下京区烏丸七条上ル一筋目東入ル100m

- 安心感100%
- 満足感100%

☎075(351)0405

大阪地区受付 ☎06(708)4646



あなたの街の玉姫殿

♡好き♡ と言ってから勝負。



あわい恋が

あまい愛に色ずいたら...

ブライドスクエア

梅田 **玉姫殿**

大阪市北区鶴野町4-16
TEL (06) 374-3333(代)

ISAでおもいきり TRAVELLER

〈春休みの大特選コース〉



(株)アイ エス エイ
運輸大臣登録一般等256号
JATA正会員

春はホームステイの
ベストシーズン……

- ロス・アカデミック・ホームステイ 32日間
¥239,000より
- オーストラリア・クイーンランド州
アカデミック・ホームステイ 23日間
¥349,000
- ニュージーランド・アカデミック・ホーム
ステイとフィジー 28日間
¥398,000

春はやっぱりヨーロッパ、
という人へ……

- ミラノ・ローマ・パリ 8日間
¥227,000より
- ヨーロッパを深く知る旅 15日間
¥485,000より
- き・が・る・に パリ 6日間
¥138,000より
- ロンドン・フリータイム 8日間
¥168,000より

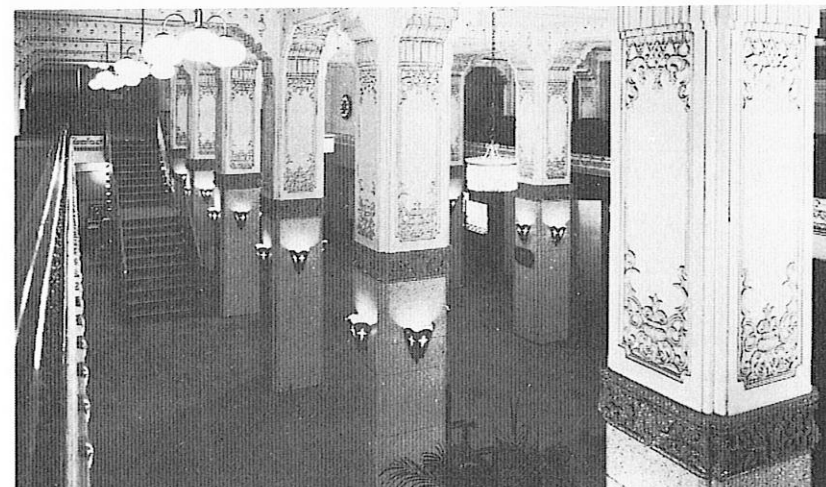
自由、気ままなフリープラン

- I アメリカン・スーパー・フリー(大阪発着)
●大阪→アメリカ西海岸往復
¥119,000より
●アメリカ国内周遊券(アメリカ大陸を
飛びまわる!!)
4枚 ¥42,000 7枚 ¥54,000 10枚 ¥66,000
5枚 ¥46,000 8枚 ¥58,000
6枚 ¥50,000 9枚 ¥62,000
- II オーストラリア・スーパー・フリー(成田発着料金)
●成田→シドニー・ブリスベン往復
¥180,000
※大阪発着は、お問い合わせ下さい。
- III ヨーロッパ・スーパー・フリー(成田発着料金)
●成田→ロンドン/パリ→成田(南回り)
¥125,000より
●成田→ロンドン往復(北回り) 周
¥135,000より
※大阪発着はお問い合わせ下さい。

(株)アイ エス エイ 京都営業所
〒604 京都市中京区烏丸錦上ル
烏丸スタービル2F
☎075(255)0481

数々の物語を見つめて。

京都ホテルが時を刻み始めたのは、鹿鳴館時代と呼ばれる明治二十一年。
日本中が欧風化の波に洗われた『ハイカラ』の時代です。
大津事件、大正・昭和の御大典など
数々の歴史の舞台として名をとどめてまいりました。
今後とも変わらないご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



創業1888年
京都ホテル

京都市中京区河原町御池 ☎(075)211-5111

SAM CORPORATION LTD.

録音全般・各種レコード製作
株式会社 サム・コーポレーション

〒651 神戸市中央区上筒井通5-2-10
TEL (078) 241-1899(代)

 **osaka photo**

(株)大阪フォト サービス カンパニー

大阪市西区江之子島1丁目5-17
PHONE 06(443)7608(代表)

●書籍●ダイレクトメール●カタログ●新聞チラシ●自費出版

●パンフレット●ポスター●etc.

——印刷の明日をめざして——

**サンケイデザイン
株式会社**

〒602 京都市上京区西若宮南半町175番地 鞍馬口通大宮一筋目西入下る
TEL.075(441)9125(代) FAX.075(441)9127



**武庫川女子大学コーラス部
第22回定期演奏会**

I. 月夜三唱、小鳥の旅	指揮/住吉 武
II. しあわせハンス	西 麻紀子
III. 秘密の花	内海 幸子
IV. バルドシュ女声合唱曲より	平田 勝

1990年1月18日(木) P.M.6:30開演

尼崎市総合文化センター
アルカイクホール

〈連絡先〉 二川直子 (0727) 38-1278

第58回 関西学院グリークラブ リサイタル

◆1990年1月27日(土) 神戸:神戸文化ホール大ホール PM5:30開場 PM6:00開演
◆1990年1月28日(日) 大阪:フェスティバルホール PM3:30開場 PM4:00開演

*MISSA "SALVE REGINA" 作曲 J.G.E.Stehle 編曲 Philip G.Kreckel 指揮 林 雄一郎 オルガン 岡安 早苗
*Sea Chanties 指揮 渡辺 孝志
*七つのスペイン民謡 作曲 Manuel de Falla 編曲 青島 広志 指揮 畑中 良輔 ピアノ 浅井 康子 フラメンコ舞踊 小島 章司
*ギルガメシュ叙事詩 帰郷の巻 訳詩 矢島 文夫 作曲 青島 広志 指揮 北村 協一 照明 西田 悦蔵
*男声合唱組曲「草野心平の詩から」 作詩 草野 心平 作曲 多田 武彦 指揮 北村 協一

お問い合わせ 関西学院グリークラブホール ☎0798-52-6471 電話予約は **アクトビオ** ☎06-363-9999

～お知らせ～

本年度より、私共同志社グリークラブの運営体制が、四回生執行体制に変わりました。従来は、技術系チーフが四回生、マネージャー系チーフが三回生となっておりましたが、これを機にマネージャー系チーフも四回生となりました。サブは、技術系が三回生、マネージャー系が、二・三回生になりました。
 まだ新体制になったばかりで、何かと皆様へ御迷惑をおかけすると思いますが、今後とも変わらぬ御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

同志社グリークラブ

名誉顧問 遠藤 彰
 顧問 澁谷 昭彦
 技術顧問 福永 陽一郎
 ヴォイスレナー 大久保 昭男

幹事長 佐藤 健司
 副幹事長 松田 仁
 内政 岡村 健司
 サブ 若野多可志
 外政 伊藤 彰敏
 小川 和博
 古谷 勝一
 サブ 黒沼 貴博
 島田 直明
 田村 篤志
 朝日 健次
 西浦 泰郎
 佐々木 博
 ステージ 花牟礼武司
 サブ 塩見 尚城
 松井良太郎
 会計 新井 正
 山本 徹也
 サブ 岩田 正之
 川口 晃司
 小西 拓也
 中井 規之

演奏旅行 佐々木昭憲
 サブ 橋爪 慎二
 上谷 潔
 資料担当 桑野 博之
 サブ 西川 智之
 坂西 成和
 O.B.担当 栗田 陽一
 サブ 竹内 敏
 堀 博
 文連常任委員 風隼 武博
 メサイア実行委員 田村 昌宏
 世古 裕一
 吉田 正久
 加藤 賢一

学生指揮者 伊東 恵司
 学生副指揮者 竹内 正
 Top-Part-Leader 廣島 映一
 サブ 小貫 岩夫
 Sec-Part-Leader 堤 大輔
 サブ 池田 祐一
 Bari-Part-Leader 佐土原陽二
 サブ 日笠 喜元
 Bass-Part-Leader 田原 邦昭
 サブ 宮崎雄一郎

MEMBER

TOP TENOR

廣島 映一(高4)甲府東 花牟礼武司(法4)箕面 伊藤 彰敏(法4)名大附属 西田 士郎(法4)同志社香里 津田 潤(文4)西宮北
 小貫 岩夫(神3)小樽桜陽 新井 光明(文3)平塚江南 岩田 正之(高3)堀川 川口 晃司(工3)同志社 黒沼 貴博(文3)大宮北
 若野多可志(神3)富山東 岸間 昭一(高2)北野 西浦 泰郎(高2)丸亀 上谷 潔(工2)三原東 山田 学(文2)前橋
 吉田 正久(文2)西南学院 播磨 剛(法1)東大津 林 克己(文1)山城 川崎 武史(経1)長尾 高力 英暢(法1)三国丘
 松尾 敏之(法1)佐世保南 村上 哲夫(法1)同志社香里 高尾友起夫(工1)倉敷古城池

SECOND TENOR

堤 大輔(法4)宇治山田 伊東 恵司(経4)嵯峨野 小川 和博(高4)高松商 田中 敦(高4)舟入 池田 祐一(文3)一宮
 鹿野 博志(文3)春日井 塩見 尚城(法3)北大和 内田 敏文(経3)北陸 加藤 賢一(法2)北筑 中井 規之(工2)高槻
 吉野 暢人(高2)桃山学院 朝岡 基雄(経1)岡崎 井上 建司(文1)阪南大学高 加藤 善彦(工1)岡崎北 勝田 恒次(法1)大津
 小林 啓(高1)洛星 小川 剛(法1)洛北 周藤 真(法1)同志社国際 田村 常喜(神1)

BARITONE

佐土原陽二(文4)別府鶴見丘 新井 正(法4)桃山学院 古谷 勝一(高4)磐城 栗田 陽一(文4)西条 桑野 博之(法4)田川
 日笠 喜元(工3)松江北 西川 智之(文3)清風南海 大籠 歩(文3)嘉穂 島田 直明(経3)高槻 竹内 正(法3)同志社香里
 田村 昌宏(高3)新居浜西 風隼 武博(高2)橋本 松井良太郎(工2)浜松北 坂西 成和(経2)市立伊丹 佐々木 博(文2)大洲
 吉本 昌史(法2)県立山口 神前 和正(高1)泉陽 木村 拓郎(法1)北嵯峨 前田 勝視(経1)佐賀西 毛利 啓栄(文1)東住吉
 小倉 嘉夫(文1)池田 島田 歩(法1)岡崎北 内桶 貴志(経1)浦和市立 上ノ町大奉(工1)池田 余田 英和(文1)東住吉

BASS

田原 邦昭(高4)大分上野 雲 博之(高4)春日丘 岡村 健二(文4)熊谷 佐々木昭憲(法4)池田 佐藤 健司(高4)札幌滝岩
 田端 信哉(法4)芥川 山本 徹也(工4)舟入 宮崎雄一郎(経3)市川 橋爪 慎二(文3)伊勢 平野 勝久(高3)東浦
 松田 仁(高3)生野 世古 裕一(法3)金沢二水 竹内 敏(文3)熊谷西 滝口 浩一(経3)藤山 田村 篤志(神3)洛南
 堀 博(法2)菊里 小西 拓也(高2)東大津 朝日 健次(法2)津山 松本 亮介(工2)同志社 永島 健一(文2)松山
 池田 英晃(経1)高松 池田 保則(法1)東大津 中野 泰秀(高1)小松 田中 佳之(高1)乙訓 鐵見 太郎(工1)同志社香里

第85回同志社グリークラブ定期演奏会 OB個人協賛芳名録

今回の定期演奏会の開催にあたり下記の先輩方の協賛を頂きました。誌上ではございますが、この場にて厚く御礼申し上げます。

同志社グリークラブ

大正15年卒 津下統一郎	昭和32年卒 大島 昌夫	昭和40年卒 渋谷 鷹一	昭和53年卒 森島 敏夫
昭和3年卒 油谷 栄	34年卒 浅田 隆	土生 邦彦	54年卒 藤井 俊之
5年卒 星野 三雄	加藤 格	41年卒 木下 利彦	矢ヶ崎一之
7年卒 海老澤宣道	村中 裕	小室 泰司	山田 浩二
9年卒 山田 弘	村橋 輝正	須田 禎治	55年卒 梶浦 義人
12年卒 藤井 清	森田 秀夫	42年卒 栗山 昭男	56年卒 落合 均
13年卒 古澤 基生	山田 安宏	外村 俊夫	楠木 潔
23年卒 池田 秀隆	米田 治夫	木村 正夫	多々 清爾
26年卒 富永 光雄	35年卒 砂原 和彌	43年卒 川上 榮	57年卒 筒井 隆文
福永 嘉彦	田坂 陽治	中嵐 暁	59年卒 豊田 尚紀
27年卒 松本 勝男	田中 忠男	44年卒 矢頭 宣男	橋本 裕和
28年卒 斎藤 勲	36年卒 植田 勝年	50年卒 池田 周一	鋒山 琢磨
西村 譲治	中村豊太郎	平瀬 芳雄	61年卒 福原 伸司
37年卒 石川 頼男	51年卒 薄井 篤	62年卒 大野 浩一	中村 洋
山田 孝彦	祖父江重剛	小林 郁夫	三宅 厚志
29年卒 吉田庄之介	藤岡 一以	小林 克良	63年卒 梅田 隆司
31年卒 小田 泰弘	前川 朋生	坂下順一郎	辻本林一郎
佐々木幹郎	土居 康雄	52年卒 高谷 博次	田中 祐之
澁谷 昭彦	38年卒 林田 慎也	山下 裕司	平成元年卒 田中 祐之
橋 守	山内 康次	山本 英司	栃木 義博
野村 忠	39年卒 後藤 健夫	53年卒 林 宏之	松本 千尋
森 盛頭	田中 省一		(敬称略)

また、昭和34年卒業の先輩方より卒業30周年を記念して現役グリークラブにCDプレイヤーをご寄贈頂きました。有難く御礼申し上げます。



同志社グリークラブ

第85回 卒業生のための送別演奏会

1990年2月17日(土) 5:30P.M. 開演

同志社大学会館ホール (入場無料)

SPECIAL THANKS

編集後記

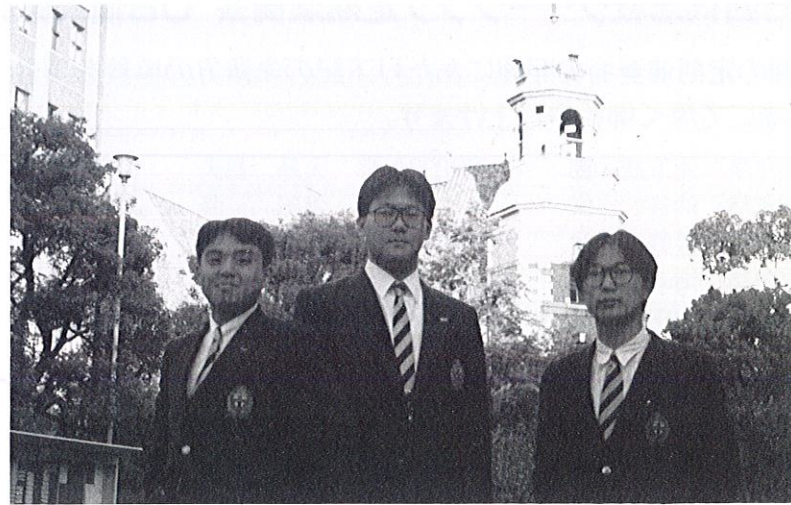
昭和から平成に元号がかわった今年、ヨーロッパ演奏旅行に始まり、同関、東西四連、福島演奏旅行、関西六連、OBジョイント、とふり返れば思い出はグリーライフばかりです。そして本日、無事迎えることができた定期演奏会も我々のよき思い出になることでしょう。

最後になりましたが、このパンフレット制作にあたり、快く原稿依頼に応じて下さった諸先生方、広告主の皆様、その他関係者各位に厚くお礼申し上げます。今後とも同志社グリークラブを、よろしく願い申し上げます。

1989年12月

同志社グリークラブ

マネージャー ー 同



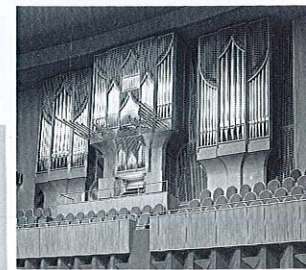
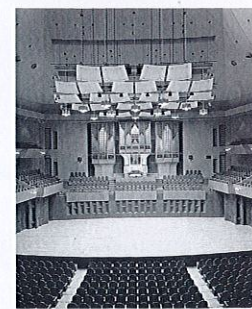
黒沼 貴博 島田 直明 田村 篤志



The Symphony Hall

なにかが変わる。
予感が聴こえる。

- グランド・ホワイエ
中央に吹き抜けを持つ二層の優美な空間。音楽へと続くプロムナードです。展示会や小さな集会もできます。
- アリーナ・シアター
残響2秒、ピロートの響きがすべての席を覆いつくし、ステージと客席は一つに溶けあいます。
- オルガン
スイス・クーン社製。54ストップ。オルガンを使う楽曲が理想の姿で演奏できます。



ザ・シンフォニーホール
ABC

〒531-01 大阪市北区大淀南2丁目

ご利用のお問合せ
06-453-1010
入場券のお問合せ
06-453-6000

NINO DANIELI

尋常だが、奥深い。
ニノ・ダニエリ。



MISAKI SHOJI CO.,LTD. Tokyo Office/Pola Aoyama Bldg., 2fl. 2-5-17, Minami Aoyama, Minato-ku, Tokyo. Phone: 03-403-4371
Osaka Office/Nihon Seimei Midotsuji Bldg, 5fl., 4-2-4, Minami Semba, Chuo-ku, Osaka. Phone: 06-251-1171